

目次

A 社会	1
政治・経済・法律・現代社会・地域社会・歴史・地理・民俗・宗教・哲学 など	
B 科学	5
化学・数学・物理・工学(土木・建築・コンピュータ関連以外) など	
C 地球・生物	8
地質・自然災害・生物 など	
D 環境	12
地球温暖化・環境汚染・環境教育・自然エネルギー・エネルギー資源・気象 など	
E 土木・建築	14
土木・建造物・建築・庭園(公共) など	
F 生活・食物	15
衣料・住居・ガーデニング(個人庭園)・食物・食生活・消費者 など	
G 農林業	16
農業・林業・農林業技術 など	
H 医療・福祉	18
医療・福祉・公衆衛生 など	
I 教育・心理	21
青少年・教育学・総合学習・学校教育・家庭教育・子育て・社会人大学院 など	
J 文化・芸術	27
言語・文学・音楽・美術 など	
K 情報・コンピュータ	30
情報化社会・コンピュータ・セキュリティ・インターネット・IT 技術 など	
L スポーツ	31
スポーツ指導 など	

A 社会

政治・経済・法律・現代社会・地域社会・歴史・地理・民俗・宗教・哲学 など

分類番号	講演題目	講師名	内容	対象	講座形式
A1	人文地理学へのお誘い	教育学系 助教 内山 琴絵	人文地理学の目的は、ある場所や地域にみられるものごとの特徴やそのパターンを把握することと、その背景にある社会的・経済的・文化的なメカニズムを明らかにすることにあります。様々な地域やスケールの人文・社会現象と自らの生活との関わりを想像できるような見方をご紹介します。	小、中、 高、一般	講義・グループ ワーク
A2	信州の地質の特性と災害	全学教育センター/信 州大学地域防災減災セ ンター 特任教授 大塚 勉	信州には、地震をはじめとして、さまざまな自然災害が起こっています。それらはどのようにして発生するのでしょうか。まず、信州の地質の生い立ちを解説し、そこで起こる災害の発生メカニズムを学びます。必ず起こる災害とどのように向かい合っければよいのかを考えるきっかけとしてください。	一般	講義
A3	等身大の理系女子	工学系 教授 カワモト ポーリン・ ナオミ	理系のキャリアを検討している、進もうとしている女子に講師の職歴ストーリーを通して、STEAM (science, technology, engineering, arts, mathematics) キャリアは真っすぐな一本道にならない・ならなくてよいことを紹介します。(男子の参加も可能です。)	小、中、 高、一般	講義・グループ ワークありetc…
A4	ロシア＝ウクライナ戦争と国際刑事裁判所 (ICC) —「戦争犯罪」の訴追・処罰に向けて—	社会科学系 准教授 久保田 隆	ロシアによるウクライナ侵攻の開始から早4年が経過しました。その過程で、各地で残虐行為が行われていることが明らかとなり、国際刑事裁判所 (ICC) は、プーチン大統領らに対して「戦争犯罪」の疑いで逮捕状を発付しました。果たして、ICCは「戦争犯罪」を裁くことができるのでしょうか。ICCに関する基礎知識を学んだ上で、日本の法制度のあり方についても考えてみましょう。	中、高、 一般	講義
A5	刑罰の意味	社会科学系 准教授 呉 柏蒼	犯罪者に懲罰を与えるということは、ごく当たり前のように思われます。しかし、なぜ人を罰しますか？罰することで、何を達成しようとしていますか？犯罪者を重く処罰したほうが良いのか？が騒がれている世の中で、刑罰に対して、私たちはどう期待して、どう理解すべきでしょうか？「罰すること」という人類永遠のテーマについて解説します。	高、一般	講義
A6	犯罪被害者のことを考えましょう	社会科学系 准教授 呉 柏蒼	犯罪が発生すれば、犯人が逮捕されて罰されます。しかし、犯罪者に刑罰を課して刑務所に送れば、全ての問題が解決されるでしょうか。見えないところに、犯罪被害者があって、犯罪被害者がいます。犯罪被害者は、刑事司法制度において、どんな立場にあり、どのような権利を持っているのでしょうか。犯罪被害者のことについて、一緒に考えてみませんか。	高、一般	講義
A7	現代社会と憲法	総合人間科学系 准教授 小池 洋平	なにかと話題になる憲法。TVやネットではアレコレ言われていますが、そもそも〈憲法〉とは何でしょうか。この講座では、現代社会で生じている憲法問題を、憲法が制定された目的と照らし合わせながら、みなさんと検討していきます。	小、中、 高、一般	講義 (相談に応じ てグループワーク も可能)
A8	法律学を学ぼう～環境法学への招待～	社会科学系 教授 小林 寛	法律は、社会生活を円滑に送るうえで有用なツールの一つです。法律を研究対象とする法律学はどのような学問なのでしょうか。初歩的な法律学入門レベルの内容を、環境法を素材として解説いたします。(環境法とは、様々な環境問題 (環境汚染、廃棄物処理、地球温暖化など) に対して法的な対応を行うための一連の法制度あるいは法領域をいいます。)	中、高	講義
A9	外国の人と共に創っていく日本社会	総合人間科学系 教授 佐藤 友則	少子高齢化とそれに伴う労働人口の減少のため、日本社会は「日本で働こう！」という外国の人との共生を考えなければ成り立たない局面になってきています。ただ、彼らは「足りない労働力の補填」ではなく「日本の強さを維持、さらに発展させるキー」だという認識は十分ではありません。一緒に日本社会を創る仲間です。この講座では、日本社会の現状と今後の明るい展望について話します。	中、高、 一般	講義 (グループ ワークあり)
A10	多文化共生と今後の日本の針路	総合人間科学系 教授 佐藤 友則	外国にルーツを持つ人々との共生を進めない限り、今後の日本の発展は望めない情勢になってきています。しかし、日本社会は彼らを入国させ、言語や生活事情などを指導し、共に日本を創っていく仲間として温かく受け入れることに慣れていません。本講座では、現状を把握し、そのうえで「安全で豊かで活力ある多文化共生社会」を日本各地に作っていくために何が必要かを考えます。	中、高、 一般	講義・グループ ワークあり

分類番号	講演題目	講師名	内容	対象	講座形式
A11	法律とは何か～様々な事例から考える～	教育学系教授 関 良徳	日常生活に生起する様々な法律上の問題について、その基礎にある問題を具体的な事例に即してお話します。	中、高、一般	講義
A12	グローバル人材養成講座―郷に入っては郷に従え?―	教育学系准教授 友川 幸	グローバル化の進展とともに、国際社会で活躍できるグローバル人材の養成が求められています。アジアやアフリカでの教育実践やフィールド研究の経験をもとに、コミュニケーション能力や異文化理解の必要性など、国際社会において求められる資質について考えていきます。	小、中、高、一般	要相談
A13	憲法とは何か	社会科学系教授 成澤 孝人	憲法とは、法律や行政が基本的人権を侵害しないように国民が定めた「高次の法」であり、私たちの生活に大きく関わっています。講義では、憲法の歴史、機能、法律との関係について解説し、現代社会において日本国憲法がどのような役割を果たしているのか、考えてみたいと思っています。	高、一般	講義
A14	教科書の裏側へ―中国古代史入門―	人文科学系助教 新津 健一郎	「歴史は暗記が辛い」「中国史は漢字が難しい」という嘆きをしばしば耳にします。では、そのように難しい事項や用語はなぜ授業で取り上げられるのでしょうか。本講座では、中国古代史に関するいくつかの事項をかみ砕いて紹介し、さらにそれらに対する歴史学的研究の蓄積をお話します。それにより、歴史を深く理解するとともに、大学で学ぶ歴史学の考え方にも触れることを目指します。	中、高	講義
A15	中国古代の社会と文化	人文科学系助教 新津 健一郎	古代の中国で育まれた制度・文化やモノは、歴史上、朝鮮半島や日本列島など東アジア地域に大きな影響を与えてきました。その一端は、漢字をはじめとする言語文化や社会のありかたにみることができます。日本の文化や伝統を深く理解するためには、中国古代の社会や文化を知ることが欠かせません。本講座では、いくつかの事例を取り上げてお話します。	高、一般	講義
A16	イスラームについて考える	教育学系助教 野口 舞子	イスラーム（イスラム教）は世界三大宗教の一つに数えられ、その教徒数は世界人口の4分の1に達しています。本講義ではイスラーム教徒の生活や生き方、その背景をなすイスラームの信仰と歴史について学び、理解を深めます。	中、高、一般	講義
A17	修学旅行の歴史～子どもたちの伊勢参宮旅行～	総合人間科学系助教 橋本 萌	小中高校時代の一番の思い出に、修学旅行のことを挙げる方は多くおられます。旅は、人の生活を豊かにしてくれる娯楽の一つといえそうです。特に学校生活を彩る修学旅行は、楽しい思い出といえるでしょう。修学旅行の始まりは明治時代にさかのぼります。大正・昭和と時代を経て、小学生の修学旅行が定着していきます。昭和戦前期には、伊勢神宮への修学旅行が拡大しました。現代でも、日本の「聖地」として仰がれる伊勢神宮への旅を、子どもたちがどのように経験したのか、歴史資料から読み解きます。	一般	講義
A18	持続的食・農・環境論	総合人間科学系／グローバル化推進センター 准教授 浜野 充	<ul style="list-style-type: none"> 日本の食料確保の現状や、農産物輸出の農業と比較した日本の農業の特徴を知り、さらに中山間地域農業・農村の課題を理解する。 21世紀における食や農、環境の関連性を理解し、健康的で持続的な食生活の在り方や関わり方について考える。 	小、中、高、大学	講義
A19	〈命〉の中国哲学	人文科学系教授 早坂 俊廣	「命」という漢字をめぐる、中国で様々な思索が展開されました。本講座では、諸子百家の時代に焦点をあてて多様な「命」論を紹介しながら、「生きる」ことの意味について考えていきます。	中、高、一般	講義
A20	孔子と現代	人文科学系教授 早坂 俊廣	孔子と言えば、「偉人」「人類の教師」というイメージが強いのですが、いつの時代もそのように考えられていたわけではありません。本講座は、中国における「孔子」観の変遷を紹介しながら、「温故知新」の実践を試みます。	高、一般	講義
A21	「ブランドって何？」―企業・地域・自分のブランドを知る・創るためには―	総合人間科学系教授 林 靖人	ブランドは企業や製品だけではなく、地域や人（個人）にとっても必要不可欠なものとなりました。「強く」「好ましく」「ユニーク」なブランドが構築できれば、他との差別化が可能になり、競争優位を得ることができます。しかし、ブランドとはそもそも何でしょうか？どうやったら創れるのでしょうか？その秘密を「心理学」という分野の研究成果を体験しながら、一緒に考えたいと思います。	高、一般	講義形式（ただし、聞くだけでなく、参加型で考える内容（ミニ演習や体験・実験）を主とする）・希望によりWorkShop形式も実施可能

分類番号	講演題目	講師名	内容	対象	講座形式
A22	アフリカの森に住む狩猟採集民の暮らし	総合人間科学系 教授 分藤 大翼	アフリカの森は私たちの遠い祖先が暮らした場所です。そして今も、その昔から営まれてきた狩猟採集という生き方を続けている人々がいます。彼らは森のなかで、自然の恵みを受けて生きています。私たちとアフリカの森に暮らす人たちとの違いは、どのようなものなのでしょうか。現地でも撮影した映像を見ながら、私たちがよりよく生きてゆくためのヒントを、森の民の暮らしのなかに探ります。	小、中、高、一般	講義・上映あり・（グループワークあり）
A23	大学で学ぶ経済学・経営学—医療の視点から—	社会科学系 教授 増原 宏明	国民の健康的な生活を支える医療サービスは、医療機関（病院、診療所）によって支えられています。この講義では、民間企業の「儲け」の方法に触れながら、儲けを第一の目的としない医療機関とはどのような存在なのか、患者さんのために何をすればよいのかを考えます。さらに経済学的思考を使って、なぜ医療保険が必要なのか、現在の医療保険には問題がないのかなどを検討します。	中、高	講義
A24	勉強をてつがくする～知的好奇心の謎～	教育学系 助教 松島 恒熙	哲学の予備知識は不要です。小学校・中学校・高校の学習指導要領において「主体的・対話的で深い学び」が目指されるようになりました。そのような学びのきっかけ作りとして「哲学対話」が注目されています。その「哲学対話」を通して、なぜ私たちは学校に通うのか？なぜ勉強するのか？など、身近な問いから哲学的に深く探究する体験が可能です。様々な教科・科目に活用できる思考力の向上が期待される講座です。	小、中、高	哲学対話によるワークショップ
A25	人間をてつがくする～なぜ私たちは生きるのか？～	教育学系 助教 松島 恒熙	哲学の予備知識は不要です。人間とは何か？幸せとは何か？など、身近な問いから哲学的に深く探究する体験が可能です。幅広い世代の皆さんとの「哲学対話」を楽しみにしています！	小、中、高、一般	哲学対話によるワークショップ
A26	最新犯罪関連ニュース解説	社会科学系 教授 丸橋 昌太郎（代表者）	最新の犯罪関連ニュースについて、刑事法学の観点から解説を加えます。取り上げるニュースについては、聴講者の希望に応じます。法学にはあまり馴染みのない高校生等には、法学の基礎的なことからわかりやすく解説をします。	高、一般	講義
A27	高校生が会える法律問題—知らなきゃ損する法律学—	社会科学系 教授 丸橋 昌太郎（代表者）	実は、高校生も、日常生活の中で多くの法律問題に接しております。法律学は、知らなければ損すること、知っていれば得することなど盛りだくさんです。法律学といえば固いイメージがあると思いますが、この講座では、なるべく高校生に身近な問題を取り上げて、法律学の楽しさをお伝えしたいと思います。	高	講義
A28	SDGsの未来	社会科学系 教授 美甘 信吾	SDGs「持続可能な開発目標」は、国際社会の課題を明確化して、国際社会が協力して解決を目指す取り組みです。達成目標となる2030年までは残り4年となりましたが、残念ながら目標達成は困難と見られています。では、SDGsに成果はなかったのでしょうか。課題を整理して、あらためてSDGsの意義を考えたいと思います。	高、一般	講義・演習・グループワーク（形式は相談に応じる）
A29	SNS・AI時代の情報リテラシーと主権者（人材）教育	社会科学系 教授 美甘 信吾	AIの発達、仕事や働き方を大きく変えています。またSNSの発達も社会に大きな変化をもたらしています。しかし、AIは常に正しい情報を提供してくれるわけではありません。SNSではデマの拡散が問題視されています。選挙と健全な民主主義への悪影響が懸念されています。今、生活者・主権者に求められる情報リテラシーとは何か。どのように身につければ良いのか、考えていきたいと思っています。	高、一般	講義・演習・グループワーク（形式は相談に応じる）
A30	ロシア・ウクライナ戦争と国際秩序	社会科学系 教授 美甘 信吾	ロシアのウクライナへの軍事侵攻は、国際社会に大きな衝撃を与えました。エネルギーや食糧の価格が高騰するなど、私たちの日常生活へも影響が及んでいます。戦争は避けられなかったのでしょうか。平和な国際社会を構築するためには何が必要でしょうか。ロシア・ウクライナ戦争について理解を深め、現在の戦争と平和・国際秩序について考えてみたいと思います。	高、一般	講義・演習・グループワーク（形式は相談に応じる）

☆関連するテーマの講座 (こちらもご参照ください)

C1	災害の記憶を伝える～仕組みづくり・人づくり～	教育学系	内山 琴絵
C4	文化財やジオパークから学ぶ地質と防災	全学教育センター/信州大学地域防災減災センター	大塚 勉
C23	災害図上訓練DIGを体験しよう	教育学系/教育学部防災教育研究センター長	廣内 大助
C24	水害はどこで起こるのかー地図からわかる低地の水害予測ー	教育学系/教育学部防災教育研究センター長	廣内 大助
C25	活断層大地震に備える	教育学系/教育学部防災教育研究センター長	廣内 大助
C26	歴史から見る海溝型巨大地震とその被害予測～東日本大震災の教訓は生かせるか～	教育学系/教育学部防災教育研究センター長	廣内 大助
C27	学校は災害にどう備えるのか	教育学系/教育学部防災教育研究センター長	廣内 大助
C28	大地震に備えるための地域の取組みとはなにか	教育学系/教育学部防災教育研究センター長	廣内 大助
C30	霊長類学のすすめ：進化の隣人から学ぶこと	理学系	松本 卓也
D9	アジアとアフリカの食と健康ー心と体の健康は健全な食生活からー	教育学系	友川 幸
G2	農村の持続的な地域資源活用	農学系	内川 義行
G11	木材生産だけじゃない！市町村の森林資源を活かす	農学系	三木 敦朗
I32	開発途上国の子どもの生きる力ー日本の良さの再発見ー	教育学系	友川 幸
I36	家庭が望む学校教育と学校が望む家庭教育	教育学系	伏木 久始
I37	“ふつう”という思い込みに気づく	教育学系	伏木 久始
I38	少子・人口減少社会に求められる教育を考える	教育学系	伏木 久始
I41	フィンランドの人々の生き方と教育	教育学系	伏木 久始
I48	ESD/SDGsを学び、進めるために	教育学系	水谷 瑞希
J4	伝統を相対化するー茶道の視点から	教育学系	大井 和彦
K1	機械学習とソフトウェア工学	工学系	岡野 浩三

B 科学

化学・数学・物理・工学（土木・建築・コンピュータ関連以外） など

分類番号	講演題目	講師名	内容	対象	講座形式
B1	磁石のふしぎ	理学系 教授 天児 寧	鉄が磁石につくのはなぜでしょう。水や銅板、液体酸素などと強力磁石の作用を観察することにより、磁石の持っている不思議な力について考えます。	小、中、 高、一般	演示実験あり
B2	身の回りの光やエレクトロニクスのお話	工学系 教授 伊東 栄次	エレクトロニクス＝電子工学は半導体を中心とした集積回路、電力制御技術、センサ、テレビなどの家電製品、情報通信技術、太陽光発電等のありとあらゆる所で使われていますが、あまりに広がりすぎたためにかえってイメージがぼやけてしまっている場合も多いようです。本講義では、エレクトロニクスの初歩的な話と、昔と今、これから期待される分野について例を挙げて紹介します。また、光の性質とその（電気・電子工学の立場から見た）応用などの話題を提供します。	中、高、 一般	講義
B3	身の回りの摩擦帯電や環境発電の話	工学系 教授 伊東 栄次	電気現象の中で最初に発見されて、授業などでも最初に学ぶであろう帯電現象について紹介します。最近では帯電を制御してそれを電気エネルギーに変換してちょっとした身の周りの電子部品などを動かすことが検討されており、帯電とエネルギーについて紹介したいと思います。	中、高、 一般	講義
B4	光でみる分子の世界	教育学系 教授 伊藤 冬樹	光を使って分子の構造や性質を調べたり、光合成のような光を使った反応および太陽電池などを研究している光化学の導入的な講義を行い身近な化学現象と光との関係を探ります。また、光によって色が変わる有機分子の合成や蛍の光の再現実験、簡単な分光器の作成も実施可能です。	小、中、 高、一般 （対象により内容は変えます）	希望に応じて対応可
B5	結晶の科学—見る！つくる！食べる！—	教育学系 教授 伊藤 冬樹	結晶は、原子や分子が規則正しく配列した固体であるといわれており、食塩、雪など身の回りに数多く存在しています。液晶画面や3D映画のメガネなどに使われている偏光板を使って結晶の観察をしたり、天気によって結晶の形が変わる「ストームグラス」づくりやチョコレートの味を左右する結晶づくりの技術（テンパリング）を通して、身近なものから結晶にまつわる科学の世界を学びます。内容は、時間に合わせて調整可能です。	小、中、 高、一般	講義、実習、実験（希望に応じて対応可）
B6	生体分子の立体構造と機能	農学系 准教授 梅澤 公二	我々ヒトを含めて生命体は分子の集まりです。どのように分子が動いているのでしょうか？分子が形成する三次元立体構造を理解することで、分子の働きを科学的に「見る」ことができます。本講座では分子の立体構造の観点から生物化学についてお話いたします。講義はパワーポイントを用います。プロジェクターは持参可能ですが、投影できる白い面と電源をご準備いただけると助かります。	中、高、 一般	講義
B7	一般相対性理論及び関連する宇宙論の紹介	理学系 教授 小竹 悟	重力の理論としてニュートンの万有引力の法則を御存知ですね。それにとって代わったのがアインシュタインの一般相対性理論です。宇宙はいつ始まり、どの様に進化し、どの様な構造をしているかは興味の持たれる所ですが、現代の宇宙論は一般相対性理論をはじめとして様々な物理学の知識を用いて調べられています。本講座では、一般相対性理論及び関連する宇宙論の簡単な紹介を行います。	一般	講義
B8	生活の中の機械—機械の運動—	教育学系 教授 川久保 英樹	生活の中にある機械は、われわれに役立つ有効な力学的仕事をしてくれます。本講座では、さまざまな機械の運動を紹介し、「運動の変換」への興味を深めてもらいます。最後に、簡単な工作によって運動の変換を確認し、理解を深めます。※材料費として1人300円程度ご用意ください。	小（5・6年）、中	講義・実験
B9	超低温の世界	教育学系 教授 神原 浩	液体窒素（-196℃）を用いた低温実験を行います。身近な空気も低温では目に見えるようになります。液体になった酸素はどのような性質を持っているのでしょうか？また、金属を低温に冷やしてみると電気抵抗はどうなるのでしょうか？低温で現れる超伝導現象も見てみましょう。	小、中、 高	講義・実験
B10	「ドローンはどうやって飛ぶの？」	工学系 特任教授 小松 勝彦	防災、運輸、農業、エンターテイメント等で活躍しているドローンがどうやって飛んでいるのか、操縦はどのように行うのか、分かり易く説明します。また、ゴム動力の模型ヘリコプタ製作と飛行、あるいはScratchによるデモ飛行を行います。人数は20人以内、時間は60～90分になります。製作時は、工作道具（ハサミ、ラジオペンチ、工作のり、色マジック）をご用意ください。	小、中	講義・実技あり

分類番号	講演題目	講師名	内容	対象	講座形式
B11	数を読む、グラフを読む・データサイエンスへのいざない	全学教育センター 特任教授 鈴木 治郎	コンピュータ利用の浸透に伴い世の中には数値情報やグラフ情報があふれかえるようになりました。しかし「数値は桁数が多い方が正確なの？」とか「グラフは色分けすると読みやすいの？」などの問題にダメ回答の事例がマスコミ報道でもたくさんあります。そんな数値情報の正しい読み方をきっかけにデータサイエンスへの入り口をのぞいてみましょう。本講座では受講対象に応じて、扱う問題の難易度や演習内容を環境、健康、教育など設定します。	中、高、 一般	講義（含む演習）
B12	浜村渚と学ぶ数学の世界	全学教育センター 特任教授 鈴木 治郎	『浜村渚の計算ノート』は青柳碧人作のライトノベルであり、中学生の数学好き少女である浜村渚が、数学の力で事件を解決して行くミステリー作品です。浜村渚と一緒に数学を学びながら、問題解決してみませんか。	中、高、 一般	講義（含む演習）
B13	身近なパワーエレクトロニクス	工学系 准教授 曾根原 誠	身の回りには、スマホやパソコン、家電など電子機器が溢れています。また最近では電気自動車やハイブリッド自動車などが走り始め、そのうち空を見上げればドローンも当たり前前に空を飛ぶようになるでしょう。それらを支える重要な技術の一つがパワーエレクトロニクス（パワエレ）です。本講座では、パワエレの基本を学ぶと共に、必要不可欠な技術の一つである電流計測について、講師が開発中の新たな計測手法・機器も交えて分かり易く授業をします。	中、高	講義
B14	数楽しもう！	総合人間科学系 教授 高野 嘉寿彦	現行の千円紙幣には細菌学者・野口英世が描かれています。このように世界各国の旧紙幣や記念硬貨には多大な業績をあげた数学者（バスカル、オイラー、ガウス）や科学者（ケプラー、ニュートン、アインシュタイン）がデザインされたものがあります。紀元前からの数学史を振り返りながら紙幣の中の数学者の業績を通して数や図形の美しい性質をみていきます。（ご希望の内容があれば可能な範囲で対応します。）	中、高、 一般	講義・グループワーク等
B15	マイクロ波のエネルギー応用	繊維学系 助教 滝沢 辰洋	電波といえばラジオ、テレビ、また最近ではスマホ、WiFiなどの情報を電線を使わずに伝達する手段としてのイメージが強いと思います。最近ではスマホやWiFiなどに使われている領域の電波(電磁波)をエネルギー源として利用する動きが広がっています。電子レンジは、その中でも最も普及している家電製品ですが料理(調理)に使う以外の例についても解説します。	中、高、 一般	講義・実験あり
B16	宇宙の始まりと最小粒子	理学部 特任教授 竹下 徹	ビッグバンという初めの大爆発で始まった私たちの宇宙についてお話しします。どうやって始まりがある事が解ったのか。始まりはどうだったのか、その後どうなって今の宇宙になっているのかという最先端研究を紹介します。さらに今後宇宙はどうなっていくのかもお話しします。	小、中、 高、一般	講義
B17	光の速さ	理学部 特任教授 竹下 徹	光の速さを目の前で測り実感できます。光の速さはこの宇宙で最速です。それはなぜなのか、なにを意味するのかをお話しします。また光を使った現象を実際に見て感じてもらいます。最後に光の速さを持参した装置で測ります。物質中を通る光は遅くなる事も測定でき、実感できます。	小、中、 高、一般	講義と演示実験
B18	「質量をつくる」Higgs 粒子発見！	理学部 特任教授 竹下 徹	Higgs（ヒッグス）粒子は宇宙の初まり（ビッグバン）直後に生まれ、すべての粒子に質量を与える根源です。ヒッグス粒子は2012年にCERN研究所で発見され、2013年のノーベル物理学賞の理由とされました。50年前に予言された粒子が見つかりました。発見の物語とその意味について話します。	小、中、 高、一般	スライドによるおはなし
B19	身の回りの放射線	理学部 特任教授 竹下 徹	身の回りにある放射線が注目されています。これらの存在と共存するためには、それを知り測る事によって影響の大きさを評価できます。物理学の観点から放射線の存在と測り方についてお話しし、実際に測ってみます。	小、中、 高、一般	講義と演示実験
B20	磁石の科学	教育学系 教授 天谷 健一	私たちの生活の中のいろいろな場面で磁石が活躍しています。磁石に関する基本から応用までを、簡単なデモンストレーション実験を交えて解説します。	中、高、 一般	講義・実験あり
B21	自然の中の毒と薬	繊維学系 教授 西井 良典	自然の中に見かける毒と薬になる物質、例えば毒キノコの毒と薬になる漢方について、毒と薬の共通点は何？毒と薬の違いは何？その境界は何？その他、ホルモンバランスとかフェロモントラップって言うけど、ホルモンとフェロモンの違いって何？麻薬取締法で規制されているモルヒネと脳内分泌物質エンドルフィンの類似点って何？これらを例に、鍵と鍵穴で見る生命現象の理解を深めます。	小、中、 高、一般	講義

分類番号	講演題目	講師名	内容	対象	講座形式
B22	釣りの科学	繊維学系 教授 西井 良典	魚釣りを科学的視点から考察します。例えば、釣り糸は古くは天蚕糸から始まり、今やナイロン、フロロカーボン、ポリエチレンなどの高分子素材が用いられ、釣具には、グラスファイバー、カーボンファイバー、ステンレス、チタン、ジルコニウム、シリコンセラミック、トルザイトなど様々な材料が使われています。これらの材料と釣りの進化を釣りキチ教授が自身の経験を交えて解説します。	小、中、 高、一般	講義
B23	食用色素で絹の染色	繊維学系 准教授 平田 雄一	食用色素を使い、身近な材料だけで絹を美しく染める様子をご紹介する実演中心の授業です。ご希望に応じて、参加者ご自身が染色を体験していただくことも可能で、その場合は使用する絹布の実費をご負担いただけます。赤・青・黄などの色素を自由に混ぜ合わせて好みの色をつくり、安全で簡単な方法を通して色の混ざるしくみや染色の面白さを楽しく学んでいただけます。	小、中、 高、一般	講義+実演or実習
B24	磁石の世界にひたろう	教育学系 助教 藤森 隼一	簡易な磁界観察装置を作製します。磁石の周りにはどのような世界が広がっているのでしょうか？作成した装置を使って観察してみましょう。希望や実情に合わせて内容は変更可能ですのでご相談ください。	小、中、 高、一般	講義・実験・実習あり
B25	化学と生物の橋渡しをする農芸化学の世界	農学系 教授 真壁 秀文	生命現象は、微量な生物活性物質の働きが引き金となって起こります。これらの生物活性物質の化学合成や活性発現のメカニズムさらに薬の応用について平易に解説致します。	高、一般	講義
B26	クロスカップリング反応のメカニズムと応用	農学系 教授 真壁 秀文	2010年のノーベル化学賞は「クロスカップリング反応」に授与されました。講演者は米国留学中に「クロスカップリング反応」に従事した経験があります。本講義ではそのメカニズムや応用について平易に解説致します。	高、一般	講義、実験あり
B27	データサイエンス入門：数学の視点から	理学系 准教授 宮西 吉久	ビッグデータやAIが身の回りでも利用されるようになりました。ここでは、数学の視点から、データ分析としての統計分析の原理について、中学数学レベルの計算で、ごく簡単な実例含めて紹介します。さらに時間的な余裕と高校理系数学の知識があれば、AIを構成する機械学習の原理の基礎についても解説します。	中、高、 一般	講義・演習・実技あり・実験あり・グループワークあり
B28	宇宙線と宇宙	理学部 特任教授 宗像 一起	銀河の彼方から飛来する宇宙線は、宇宙の姿を伝えるメッセンジャーとして注目されています。この宇宙線とその観測について紹介し、それからどんな事が判るのか説明します。	高、一般	講義
B29	「飛行機はなぜ飛ぶの？」	工学部 特任教授 柳原 正明	自動車や電車と同じくらい飛行機が身近になってきました。ここでは飛行機がなぜ飛ぶのか、操縦はどのように行うのか、などについて分かり易く説明します。もし飛行機に対する疑問があれば、説明に盛り込みます。時間は30～40分、人数は40名程度以内とします。参加者に模型飛行機（1つ700円～）製作と飛行をしてもらうことも可能です。時間は90～120分になります。	小、中、 高、一般 (対象に応じて内容を調整します)	講義(実技も可能)
☆関連するテーマの講座 (こちらもご参照ください)					
A3	等身大の理系女子	工学系	カワモト ポーリン・ナオミ		
I1	総合学習・課題研究等での研究のまとめ方・プレゼンテーション入門	教育学系	伊藤 冬樹		
I9	錯覚の不思議な世界	人文科学系	菊池 聡		
I60	研究する人生とは？	繊維学系	西井 良典		

C 地球・生物

地質・自然災害・生物 など

分類番号	講演題目	講師名	内容	対象	講座形式
C1	災害の記憶を伝える～仕組みづくり・人づくり～	教育学系 助教 内山 琴絵	地域で災害の記録を残し、教訓を伝えるためにはどのような仕組みが必要でしょうか？長野県内自治体と信州大学が共同で取り組んできた災害デジタルアーカイブ活用事例を紹介し、効果的な災害伝承のためには何が必要か考えます。	小、中、高、一般	講義・グループワーク
C2	植物の多様性と人との関係	農学系 教授 大窪 久美子	世界的にみても日本列島は植物相の多様性が高い地域の一つに挙げられますが、現在では絶滅が心配されている植物種も少なくありません。本講義では特に里地や里山等、人とのかかわりで成立してきた二次的自然をハビタットとする植物種や植生の現状や課題について、生物多様性保全の立場から解説します。また近年の在来植生に対する外来植物の侵入定着の問題についても解説します。	小、中、高、一般	講義
C3	身近な外来植物から植物の暮らしや自然を考えよう	農学系 教授 大窪 久美子	私たちの身近には多くの外来植物（帰化植物）がみられますが、その侵入・定着の経緯や暮らしについてはあまりよく知られていません。本講座では外来植物をとおして、植物の生活の仕方やたくましい生存戦略について理解を深め、生物多様性や生態系の保全について考えます。外来植物の管理の方法についてもリクエストや条件が合えば、講義や実習を行いたいと思います。	小、中、高、一般	講義・観察・実習
C4	文化財やジオパークから学ぶ地質と防災	全学教育センター/信州大学地域防災減災センター 特任教授 大塚 勉	「災害は忘れた頃にやってくる」と言われます。地震などの自然災害の再来周期は、人間の一生に比べて長いことが多いのです。災害の歴史は、地質関連の文化財として保存されています。それらは、最近整備されているジオパークで体験的に学ぶこともできます。講座では、地質関連の文化財やジオパークを楽しみながら減災を実現することについてご案内します。	一般	講義
C5	ウイルスをちゃんと知ろう	理学系 助教 小笠原 慎治	ウイルスに対して悪いものというイメージだけで過剰反応していませんか？人類の脅威となりうる怖いウイルスもあれば癌を治してくれる良いウイルスもあります。この講座ではウイルスの作りや増え方についての基礎からウイルスを使った最新の癌治療までをお話しします。	中、高、一般	講義
C6	遺伝子組換え作物って本当に体に悪いの？	理学系 助教 小笠原 慎治	「遺伝子組換え」という単語に過敏になり過ぎていませんか？本講座では遺伝子や遺伝子組換え技術の基礎知識、またそれによって生み出された作物、魚などの具体例の話や最新の遺伝子組換え技術「ゲノム編集」がどんな技術なのかについてお話しします。	中、高、一般	講義
C7	バイオテクノロジーによる動物の臓器再生	農学系 教授 鏡味 裕	最近、様々な組織、器官、臓器を形成し得るES細胞が注目されています。私たちは多能性細胞を分化制御し、個体や臓器の再生を試みています。これらについてわかりやすく説明します。	高、一般	講義
C8	水辺で暮らす鳥たちの暮らし	理学系 助教 笠原 里恵	河川や湖沼は、人の生活に重要な水を供給しますが、台風や大雨の時には水害も引き起こします。そのため、水辺環境は、人が水を利用しやすいように、水害が生じないように、と改変されてきました。けれども、水辺にはその環境に応じて生活する生き物がいます。私の講義では、水辺に暮らす鳥類の生活の解説を通して、水辺環境での人と生き物の共存についてお話しします。スライドを使った講義となりますので、スクリーンやプロジェクターの準備をお願いします。	中、高、一般	講義
C9	防災減災のための心の科学 リスク社会をいかに生きるか	人文科学系（信州大学地域防災減災センター） 教授 菊池 聡	地震にせよ台風にせよ、いわゆる天災を完全に防ぐことはできません。しかし、それが軽微な被害で終わるか、大被害をもたらすかは、私たちの心の構えによって左右されます。災害だけでなく、日頃のリスクとのつきあい方も含めて、よりよい生活のための心の科学を解説します。信州大学地域防災減災センターとして担当します。（本年度は、実施のご希望に添えない期間・日程が多くあります。）	高、一般	講義
C10	地球のふしぎー地球の模型をつくってみようー	理学系 教授 齋藤 武士	私たちの惑星（ほし）地球はどんな形か、中身はどうなっているか知っていますか？地球の模型（地球儀）を作って、地球がどんな惑星か探ってみましょう。地球がどんな惑星か、どうしてそう考えられるようになったのか（地球科学入門）についても解説します。材料費として1人150円程度が必要です。	小、中、高、一般	講義・実習

分類番号	講演題目	講師名	内容	対象	講座形式
C11	火山をしらべよう	理学系 教授 齋藤 武士	長野県には多くの活火山があります。あの火山は噴火しないのでしょうか。どうやって火山の活動を調べたらよいでしょうか。噴火の仕組み、火山の活動を調べる方法を学び、火山の災害について考えましょう。	小、中、 高、一般	講義・実習
C12	こんなにわかった！！ショウジョウバエの記憶・学習・行動の遺伝学	教育学系 准教授 坂口 雅彦	英単語や公式を簡単に暗記できたらいいですね。このような記憶・学習には脳が重要な働きをしていますが、具体的にはどのような仕組みで起こっているのでしょうか？遺伝学のスターであるキイロショウジョウバエと最新の技術により、記憶・学習・行動の謎がどんどん解明されています。本講座ではバエで明らかになったことを中心に、記憶学習の謎がどこまで明らかになったか紹介します。	中、高、 一般	講義
C13	カイコ研究の現在と未来	繊維学系 准教授 白井 孝治	創立100年を越える繊維学部はもともとカイコとシルクの専門学校でした。日本全体で養蚕が衰退した現在においても、まだ繊維学部はじめ日本全国の大学ではカイコの研究は続けられています。ではいまカイコの研究はどうなっているのでしょうか？カイコ利用の簡単な歴史と現在行っている研究について簡単に説明します。	小、中、 高、一般	講義
C14	長野県の火山と防災	教育学系 教授 竹下 欣宏	2014年に噴火した御嶽山をはじめ、浅間山、焼岳など長野県にはたくさんの火山があります。どこにどんな火山があるのかを学び、火山災害から身を守るにはどうしたらいいのか、一緒に考えてみましょう。	小、中、 高、一般	講義
C15	地形・地質が語る大地の生い立ち（北信版）	教育学系 教授 竹下 欣宏	御嶽山の噴火、神城断層地震、千曲川の決壊と、近年、長野県では、様々な地質災害が発生しました。しかし、これらの災害は大地が生きて活動していることの証でもあります。地形や地層・岩石から読み取ることができる長野県北部の大地の生い立ちを紹介します。「南信や中信など、この地域のこんな話を聞きたい」などご要望がありましたらお気軽にご相談ください。	小、中、 高、一般	講義
C16	氷河時代の野尻湖～信州にナウマンソウがいたころ～	教育学系 教授 竹下 欣宏	今から4万年ほど前の野尻湖にはナウマンソウが生息していました。1962年から続く野尻湖発掘によって、そのころは現在よりも寒い時代だったこと、ナウマンソウを狩りした人類がいたかもしれないことがわかってきました。最近の発掘の成果も交え、氷河時代の野尻湖の様子をわかりやすく解説します。	小、中、 高、一般	講義
C17	水生生物の多様性と水環境	理学系 教授 東城 幸治（代表者）	自然界では、さまざまな環境のもとに、さまざまな生きものが暮らしています。生物の分布は、それぞれの生物の環境適応性や、生物同士の相互関係などと深く関連するものですが、特に（1）水生生物とその棲み場となる水環境との関わりについて、（2）生態的特性と分布、これらと深く関わる遺伝的多様性について、（3）水生外来種問題、等についてお話しします。	小、中、 高、一般	講義（実習・実技ありでも可能）
C18	負け組が最後に勝つ？：サクラマスの戦略とフェロモン	繊維学系 教授 西井 良典	フェロモン研究を通して見たサクラマスの生態と戦略を講義します。川での縄張り争いに負けただ体の小さなヤマメ（サクラマス）は海に下って行きます。そこそが負け組の戦略だったのです。痛快な敗者復活劇とフェロモンの話をします。今は負けても諦めるな！今日の敗者を見下すな！小学生、中学生、高校生、大人に聞いてほしい元気が出るお話です。最新のフェロモン研究についても言及します。	小、中、 高、一般	講義
C19	大地震！その時あなたは大丈夫？	理学部 特任教授 原山 智	大きな地震のたびに地震対策の重要性がさげられます。防災グッズが地震対策だと勘違いしていませんか？では、日頃から備えておくべき対策とは何でしょう。対策のポイントを中心に易しく解説したいと思います。※準備物品：液晶プロジェクター、スクリーン	一般	講義
C20	地質探偵とさぐる北アルプスの生い立ちの謎	理学部 特任教授 原山 智	風林火山では山は不動の象徴です。しかし地球の歴史の中で、山は生成と消滅を繰り返してきました。北アルプスは230万年前に山脈へと成長を始めます。どうして、その時そこに山ができたのでしょうか。山岳踏査日数1600日の成果をもとに、地質探偵ハラヤマが、山の成り立ちを探る旅にご案内します。※準備物品：液晶プロジェクター、スクリーン	一般	講義
C21	ホテルの都合・ヒトの都合～ホテルの話し～	繊維学系 教授 平林 公男	ホテルの立場に立って、ホテルの都合を考えてみましょう。いま、各地でくりひろげられている「ホテルの復活」に対する活動は、ヒトの都合だけで動いている場合が多くないでしょうか？	小、中、 高、一般	講義

分類番号	講演題目	講師名	内容	対象	講座形式
C22	蚊の科学	繊維学系 教授 平林 公男	ヒトの健康に対して、肉体的あるいは精神的に害を与える動物(衛生動物)について概説し、身近な衛生動物”蚊”についてお話しします。蚊がどうしてヒトに引き寄せられるのか、どのようにして吸血するのか、蚊のいやがる物質はあるのかなど、これまで世界中で報告されてきた蚊に関する研究の成果を焦点を絞ってわかりやすくお話しします。	小、中、 高、一般	講義
C23	災害図上訓練DIGを体験しよう	教育学系／教育学部防 災教育研究センター長 教授 廣内 大助	災害が起こったとき、被災しないためには、災害発生時にどのような行動をとるべきか、普段からイメージしておくことが重要です。本講座では被災を想定した災害図上訓練（Disaster Imagination Game）を実施し、生活の中の様々なパターンで起こる災害時に、どのような準備が必要か、どのように行動すべきか、図上訓練を通じて考えていきます。DIG自体を体験いただくために、あらかじめ準備した地域で仮想のDIGを実施し、要望があれば講座開催地周辺でのDIGも行います。受講者のレベルは問いませんが、災害時の行動や準備を考えるきっかけになると思います。（スクリーンとプロジェクター、色鉛筆かカラーペンを数色ご準備ください。）※30-40人程度が適切です。多い場合はご相談下さい。	中、高、 一般	講義+グループ ワーク
C24	水害はどこで起こるのか—地図からわかる低地の水害予測—	教育学系／教育学部防 災教育研究センター長 教授 廣内 大助	大規模台風やゲリラ豪雨など、水害は日本各地で毎年のように起こり、多くの家屋が浸水被害に見舞われます。ところが浸水被害はかならずといって良い程、同じ場所でも起こります。このことは平野や盆地を作る地形と深い関わりがあります。本講座では地域のどこで水害が起こるのか、なぜ水害に弱いのかについて、地形とそれをあらかず地図を使って、過去の洪水被災地域を事例に実際に考えていきます。（プロジェクター、スクリーンをご準備ください。参加者の上限目安は100名です。）	高、一般	講義
C25	活断層大地震に備える	教育学系／教育学部防 災教育研究センター長 教授 廣内 大助	地震を引き起こす活断層。身近な地域のどこにあるのでしょうか。また活断層地震でなにが起こるのでしょうか。また誰がどの様に対策する事が必要でしょうか。近年発生した活断層地震の被害や明らかになった問題点に触れつつ、現状対策はどうか？海外ではどの様に備えているのか？私たち個人や地域がどのように備える必要があるのか？など海外や国内事例を紹介しながら解説します。（プロジェクター、スクリーンをご準備ください。参加者の上限目安は100名です。）	高、一般	講義
C26	歴史から見る海溝型巨大地震とその被害予測～東日本大震災の教訓は生かせるか～	教育学系／教育学部防 災教育研究センター長 教授 廣内 大助	東日本大震災は記憶に新しいが、現在南海トラフでは巨大地震が想定され、国の試算では死者30万人の結果もあり、長野県でも諏訪や飯田などの南信を中心に大きな影響が予想されます。海溝型巨大地震の東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）と津波はどの様なものか、想定される南海トラフ地震と被害予測、過去の地震履歴とその被害、内陸の活断層直下地震は誘発されるのか、長野県の影響は、私達が備えることなど、東日本大震災を学びながら、想定される巨大地震の被害予測とその対策について考えます。（プロジェクター、スクリーンをご準備ください。参加者の上限目安は100名です。）	高、一般	講義
C27	学校は災害にどう備えるのか	教育学系／教育学部防 災教育研究センター長 教授 廣内 大助	突発的な災害にどんな備えが必要でしょうか。災害時にできることは限られます。学校や地域にどんなリスクがあり、どう対処すべきか事前に知り備える必要があります。地域と学校が普段から連携せねば子供の命は守れません。学校がどう備えるのか、東日本大震災の教訓を踏まえ、学校の具体的な対策と地域との連携について防災管理、防災教育の点から解説します。（プロジェクター、スクリーンをご準備ください。参加者の上限目安は100名です。）	中、高、 一般、学 校関係者	講義
C28	大地震に備えるための地域の取組みとはなにか	教育学系／教育学部防 災教育研究センター長 教授 廣内 大助	大地震にどう備えていますか？非常食と水、避難所の確認など様々な情報が耳に入ります。では地域としてどんな準備が必要でしょうか。災害への備えは、発災時に起こることを時系列で考えねばなりません。2016年熊本地震では、事前準備や地域コミュニティ力の差によって、避難所生活に大きな差がありました。大地震に備えて市民や地域がなにをすべきか、いくつかの地震の事例を振り返りながら考えます。（プロジェクター、スクリーンをご準備ください。参加者の上限目安は100名です。）	一般	講義
C29	酵母はモデル生物	農学系 助教 細見 昭	酵母と言えば、大隅良典先生のノーベル生理学医学賞の受賞が記憶に新しいですね。酵母はなぜ研究に用いられているのでしょうか？私たちの身近にいる微生物でもある酵母について詳しく解説します。上記内容に加えて、大学における学びについてもお話しさせて頂きたいと思います。（プロジェクター及びスクリーンの準備をお願いします。）	高	講義（多少のグ ループワークあ り）
C30	霊長類学のすすめ：進化の隣人から学ぶこと	理学系 助教 松本 卓也	ヒトの進化の隣人であるチンパンジーやニホンザルの知見から、「我々はどこから来たのか 我々は何者か 我々はどこへ行くのか」を考えたいと思います。ヒトと非ヒト霊長類との類似点・相違点を参加者で挙げてもらうグループワークも可能です。（その際はペン・ポストイット等が必要です。）	小、中、 高、一般	講義・グループ ワークあり

分類番号	講演題目	講師名	内容	対象	講座形式
C31	ダンゴムシ、オオグソクムシ、ミナミコメツキガニの心理学！	繊維学系 准教授 森山 徹	身近なダンゴムシ、深海のオオグソクムシ、沖縄のミナミコメツキガニに心を見出す実験を紹介しながら、生命とはなにか？を一緒に考えたいと思います。少人数の場合、実験も可能ですので、事前にご相談下さい。	小、中、 高、一般	講義（実験については応相談）
C32	化石から読み取る地球環境変化	理学系 教授 山田 桂	化石は、過去の地球の歴史を記録している貴重なツールです。氷期・間氷期が繰り返り起こったこと、私たちの祖先が過ごした時代の海水温や降水量の変化がどの程度であったかなど、多くのことを教えてください。最先端の研究を交えながら、地球の将来予測につながる過去の地球の様子について、化石から読み取れることを解説します。	小、中、 高、一般	講義（希望により実習ありも可）
C33	街中の化石を探してみよう	理学系 教授 山田 桂	化石は山の中で探すものと思っているかもしれませんが、実は街中でも見ることができます。化石の種類や見つけ方を説明した後、松本市内を歩きながら一緒に化石を探してみます。ついでに石の観察もすると面白いですよ。	小、中、 高、一般	講義・野外実習

☆関連するテーマの講座（こちらをご参照ください）

A2	信州の地質の特性と災害	全学教育センター/信州大学地域防災減災センター	大塚 勉
B22	釣りの科学	繊維学系	西井 良典
D2	気候変動と炭素循環—森林や湖での温室効果ガス交換研究の紹介—	理学系	岩田 拓記
D5	ネイチャー・ポジティブ～持続可能な社会に向けて～	総合人間科学系	高木 丈子
D6	環境パートナーシップで地域をつくる	総合人間科学系	高木 丈子
D7	自然共生サイトを目指してみませんか？	総合人間科学系	高木 丈子
D11	湖沼における特定生物大発生メカニズムとその対策	繊維学系	平林 公男
D12	河川生態系と河川の攪乱	繊維学系	平林 公男
F7	GMO（遺伝子組み換え生物）の栄光と蹉跎～育種技術の未来～	繊維学系	林田 信明
G5	地球温暖化と森林の二酸化炭素吸収	農学系	小林 元
G13	きのこの生態	農学系	山田 明義
H4	忍び寄る吸血昆虫トコジラミの脅威と対策	医学系（附属病院）	金井 信一郎
H13	ネズミで探る！遺伝子のヒミツ	医学系	新藤 隆行
I19	生命をつなぐしくみ — 生殖のひみつ —	農学系	高木 優二

D 環境

地球温暖化・環境汚染・環境教育・自然エネルギー・エネルギー資源・気象 など

分類番号	講演題目	講師名	内容	対象	講座形式
D1	身近な自然かんさつ	教育学系 教授 井田 秀行	近所の森や里山を散策し、主に植物を観察します。フィールドワークを通じて、生き物の生態をはじめ、植物と人の関わりの歴史・文化などを総合的に理解します。地域の自然環境の現状や成り立ちを考慮することで、身近な自然を再認識します。20名以下の講座を想定しています、それを超える場合はご相談になります。	小、中、 高、一般	野外活動
D2	気候変動と炭素循環ー森林や湖での温室効果ガス交換研究の紹介ー	理学系 准教授 岩田 拓記	現在の地球温暖化は人類による温室効果ガス排出のために生じていると考えられていますが、大気中の温室効果ガス濃度には大気と地表面の植物の間の温室効果ガス交換も影響します。この講義ではアラスカ北方林や中央アルプスの山の上、諏訪湖での温室効果ガス交換の研究を写真を交えて紹介し、気候変動と炭素循環がどのように関係しているかを解説します。	小、中、 高、一般	講義
D3	地球沸騰化時代の食と農業	農学系 教授 齋藤 勝晴	農業生産は地球温暖化の影響を受ける一方で、農業分野からも温暖化を促進させる温室効果ガスが排出されています。このため、有機物投入等で土壌の肥沃度を高めながら、農地の炭素貯留能力を発揮させる技術の開発が期待されています。本講演では、気候変動と農業の関係を概観し、今後開発が期待される技術について、特に微生物の視点から議論します。	小、中、 高、一般	講義
D4	農地の環境、農業が作る環境	農学系 准教授 鈴木 純	農村や農地には、農業や農作物の影響を受けた環境が形成されています。一方農業は、この環境の下で営まれます。この講座では、農地の環境形成機能や様々な現象について、データを用いて平易に解説します。またグループワークなどをつうじて問題解決の糸口を探ります。取り扱う内容は次の通りです：気象、紫外線、砂塵・ダスト、土壌の物理、温熱環境（熱中症指数）など	高、一般	講義、グループ ワークあり
D5	ネイチャー・ポジティブ～持続可能な社会に向けて～	総合人間科学系 助教 高木 丈子	「ネイチャー・ポジティブ」とは、自然の損失を食い止めて、回復させる取り組みです。でもそのためには、我々は何をすればよいのでしょうか？気候変動や資源循環などの様々な取り組みとの関りや世界の現状について学び、一人一人ができることを考えましょう。	小・中・ 高、一般	講義（グループ ワークありも可 能）
D6	環境パートナーシップで地域をつくる	総合人間科学系 助教 高木 丈子	環境問題への取り組みが必要なのはわかるけど、どうやったらうまく進めることができるのかわからない、っていう人はいませんか？県や市町村、NPOや企業など様々な環境活動が行われています。どうやったらうまくいくのか、まずは基本となる環境パートナーシップについて学んでみませんか？	高、一般	講義（グループ ワークありも可 能）
D7	自然共生サイトを目指してみませんか？	総合人間科学系 助教 高木 丈子	最近聞くことが増えた、ネイチャーポジティブ、OECM、自然共生サイトという単語。ちょっと作業が大変かもしれませんが、もしかしたら自分たちが所有・管理しているところも登録できるかも？世界に貢献できる可能性のある自然共生サイトにするにはどうすればよいか、解説します。	高、一般	講義（グループ ワークありも可 能）
D8	国立公園にいこう！	総合人間科学系 助教 高木 丈子	自然が豊かな長野県、自然公園も数多くあります。でも実は、国立公園と国定公園の違いや、国立公園の範囲って知りませんか？長野県にある国立公園を題材に、国立公園を学んでみませんか？新しい目で自然を見ることができますよ。	小・中・ 高、一般	講義（グループ ワークありも可 能）
D9	アジアとアフリカの食と健康ー心と体の健康は健全な食生活からー	教育学系 准教授 友川 幸	開発途上国の食と健康の問題について、現地での滞在経験をもとにお話しします。開発途上国における栄養失調や肥満の問題などから食と健康の密接な関係を知り、人々の食生活が健康に与える影響について考えます。また、アジアやアフリカの食文化について学ぶと同時に、日本の食文化についても考えていきます。	小、中、 高、一般	要相談
D10	湖沼におけるアオコの発生機構と制御方法	理学系 教授 朴 虎東	湖沼に発生するアオコの発生機構とアオコに含まれているアオコ毒素の水界生態系における動態を解説します。またアオコの発生の防止・制御に関する最近の研究例を紹介いたします。	高、一般	講義

分類番号	講演題目	講師名	内容	対象	講座形式
D11	湖沼における特定生物大発生メカニズムとその対策	繊維学系 教授 平林 公男	湖沼生態系は閉ざされた生態系としてとらえられ、地球上で物質が循環するように、水中で生産、消費、分解という過程を通して、物が循環しています。このバランスが崩れると、特定の生物が大発生するなどの様々な問題が生じてきます。長野県内の湖沼を例にそのメカニズムについて考えます。	小、中、 高、一般	講義
D12	河川生態系と河川の攪乱	繊維学系 教授 平林 公男	河川水中では常に一方向の水の流れがあり、物理的な物質の流れも基本的には一方向です。河川に生息する生物群集は、こうした環境にうまく生活様式を適応させて進化してきました。河川では洪水のような自然の攪乱や、河川工事などの人為的な攪乱が頻繁に起き、生物群集の死滅、回復が常に繰り返されています。河川生態系について理解を深めます。	小、中、 高、一般	講義
D13	志賀高原ユネスコエコパーク：人と自然の調和を目指して	教育学系 准教授 水谷 瑞希	ユネスコエコパークは、生態系の保全と持続可能な利活用の調和を目指す、国際的な自然保護区です。本講座では志賀高原ユネスコエコパークを対象に、その豊かな生態系や、地域資源を活かした持続可能な経済活動を目指す取り組みなどを解説します。本講座は志賀高原での高原学習等の事前学習に対応できるほか、SDGs（持続可能な開発目標）の学習にも適しています。	小、中、 高、一般	講義
D14	地球温暖化問題と森林・木材の役割	農学系 准教授 安江 恒	地球温暖化の進行を緩和する上で森林や木材利用が果たす重要な役割を解説し、今後の森林の管理や林業のあり方について考えます。	中、高、 一般	講義

☆関連するテーマの講座（こちらもご参照ください）

B2	身の回りの光やエレクトロニクスのお話	工学系	伊東 栄次
B3	身の回りの摩擦帯電や環境発電の話	工学系	伊東 栄次
B13	身近なパワーエレクトロニクス	工学系	曾根原 誠
B28	宇宙線と宇宙	理学部	宗像 一起
C15	地形・地質が語る大地の生い立ち（北信版）	教育学系	竹下 欣宏
C16	氷河時代の野尻湖～信州にナウマンゾウがいたころ～	教育学系	竹下 欣宏
C17	水生生物の多様性と水環境	理学系	東城 幸治（代表者）
C21	ホテルの都合・ヒトの都合～ホテルの話し～	繊維学系	平林 公男
C32	化石から読み取る地球環境変化	理学系	山田 桂
E1	土の性質と地盤災害	工学系	梅崎 健夫
G6	日本の森林と信州の里山の成り立ち	農学系	小林 元
G11	木材生産だけじゃない！市町村の森林資源を活かす	農学系	三木 敦朗
H15	持続可能な開発のために今、できることーエコヘルス教育のすすめー	教育学系	友川 幸
J7	アジアのお香：熱帯雨林と文化	総合人間科学系	金澤 謙太郎
J29	環境文学のすすめ	総合人間科学系	松岡 幸司

E 土木・建築

土木・建造物・建築・庭園（公共） など

分類番号	講演題目	講師名	内容	対象	講座形式
E1	土の性質と地盤災害	工学系 教授 梅崎 健夫	建物や社会基盤施設を支える「地盤」とは何か。地盤を構成する「土」とその性質について説明します。そして、「地すべり」・「液状化」・「地盤沈下」など、地盤災害のメカニズムとその対策についてもわかりやすく話します。	高、一般	講義
☆関連するテーマの講座 （こちらもご参照ください）					
D8	国立公園にいこう！		総合人間科学系		高木 丈子
G2	農村の持続的な地域資源活用		農学系		内川 義行

F 生活・食物

衣料・住居・ガーデニング（個人庭園）・食物・食生活・消費者 など

分類番号	講演題目	講師名	内容	対象	講座形式
F1	災害時に役立つパッキング	教育学系 准教授 沖嶋 直子	近年、自然災害の増加とともに被災時の食に関する関心が高まっています。その中で、ライフラインが寸断されてもカセットコンロとガスボンベがあれば節水しつつ温かいものが食べられるパッキングが注目されてきています。講義者は、日本栄養士会災害支援チーム（JDA-DAT）リーダー研修を修了しており、その経験をもとに災害における食について、パッキングの実演を含めて実践的な学びを展開します。受講者の方にも調理していただくことを想定していますので、家庭科室や調理室など、衛生的に調理ができる部屋が必要です。	小、中、 高、一般	実技中心（パッキングの待ち時間に簡単な講義もできます）
F2	子どものアレルギー対応～食物アレルギーを中心に～	教育学系 准教授 沖嶋 直子	アレルギー患者の増加に伴い、学校におけるアレルギー対応は複雑化しています。本講座では、アレルギーの病態の解説から学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）（保育園では保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表）の見方、エビイベントレーナーを用いた緊急時対応演習、食物アレルギーに配慮した調理実習のコツなどを、時間やご希望に合わせてオーダーメイドで実施いたします。	一般（教職員・保育士・放課後児童支援員）	講義および実技
F3	花粉症と食物アレルギー	農学系 教授 片山 茂	花粉症は今や、わが国の国民病とまで云われるようになってきました。また、食物アレルギーに悩まされている人も急激に増えました。花粉症や食物アレルギーの人はこれからも増え続けることが予想されます。この講座ではみなさんと一緒に花粉症や食物アレルギーと食生活との関係について考えてみたいと思います。	中、高、 一般	講義
F4	大豆食品の健康機能性	農学系 教授 片山 茂	和食が世界的に注目されていますが、日本では食生活の欧米化により、大豆食品を多く摂取する従来の日本型食生活は大きく変化しています。本講座では、日本人の食事様式の変化に触れながら、大豆および大豆加工食品がなぜ体にいいのか解説します。	中、高、 一般	講義
F5	ナスの健康効果	農学系 准教授 中村 浩蔵	ナスは栄養が少ないと思われていますが、実は、コリンエステルという成分が他の野菜の約3,000倍も含まれ、高めの血圧改善などの健康効果をもつことがわかりました。この講座では、ナス健康効果の発見、体への作用、ナス機能性表示食品の開発についてお話しします。	中、高、 一般	講義
F6	個人データ駆動型個別ヘルスケア	農学系 准教授 中村 浩蔵	食によるwell-beingに挑戦し、「好きなものを食べて、なりたい自分になれる」未来を実現するための、未踏領域の個別化ヘルスケアについて解説します。	高、一般	講義
F7	GMO（遺伝子組み換え生物）の栄光と蹉跎～育種技術の未来～	繊維学系 教授 林田 信明	とかく議論をかもす遺伝子組み換え農作物やゲノム編集生物ですが、いったい何が問題でこれほど賛否が分かれるのか、本当は悪者なのか救世主なのか、それとも実は大騒ぎをする価値がないのか、視点を変えながら解説します。	中、高、 一般	講義
F8	肥満の予防と改善に働く身近な食品成分	農学系 准教授 三谷 壘一	世界の肥満人口は10億人を突破し、子どもにも急増中です。肥満は糖尿病や心臓病、感染症のリスクも高めます。本講座では、私たちの身近にある食品成分が、どのようにして肥満の予防・改善に働くのか、その「仕組み＝メカニズム」を分かりやすく解説します。	高、一般 （大学生、成人）	講義

☆関連するテーマの講座（こちらもご参照ください）

B5	結晶の科学—見る！つくる！食べる！—	教育学系	伊藤 冬樹
B11	数を読む、グラフを読む・データサイエンスへのいざない	全学教育センター	鈴木 治郎
B23	食用色素で絹の染色	繊維学系	平田 雄一
G7	ヨーグルトの健康効果～乳酸菌研究の最前線～	超学系	下里 剛士
G8	畜産物のエシカル消費に向けて 一家畜生産における社会的責任とアニマルウェルフェア	農学系	竹田 謙一
G9	トウガラシの科学	農学系	松島 憲一
G10	信州の伝統野菜について	農学系	松島 憲一
K8	AIとともに働く10年後	全学教育センター	鈴木 治郎

G 農林業

農業・林業・農林業技術 など

分類番号	講演題目	講師名	内容	対象	講座形式
G1	植物の病気	総合人間科学系 准教授 今津 道夫	農作物や森林の病気はしばしば大発生し、ときに私たちの生活に大きな影響を及ぼします。こうした植物の病気の原因となる微生物や病気の発生生態について、身近な植物病害の例をとりあげて解説します。	一般	講義
G2	農村の持続的な地域資源活用	農学系 准教授 内川 義行	農山村の多くは、農地の耕作放棄や林地の手入れ不足が増え、人口減少や高齢化による地域社会の担い手喪失が悪循環構造となり、存続の危機にさらされています。こうした中、地球環境への負荷にも配慮しつつ、持続的な地域資源活用による活性化策が求められています。地域資源の基本的考え方やその保全、整備および活用手法を紹介・解説します。	小、中、 高、一般	講義
G3	バイオテクノロジーによる動物の改良	農学系 教授 鏡味 裕	バイオテクノロジーは食料生産にとって必須な技術となっています。このテクノロジーによる動物の改良についてわかりやすく説明します。	一般	講義
G4	動物バイオテクノロジーの食料生産への応用	農学系 教授 鏡味 裕	幹細胞の分化制御による新規有用動物の創出と食料生産への応用について概説します。	高	講義
G5	地球温暖化と森林の二酸化炭素吸収	農学系 准教授 小林 元	地球温暖化と森林の二酸化炭素吸収のメカニズムについて、わかりやすく説明します。地球温暖化防止に果たす林業の役割について、長野県の取り組みを例に挙げて具体的に解説します。	中、高、 一般	講義
G6	日本の森林と信州の里山の成り立ち	農学系 准教授 小林 元	日本の森林の歴史的変遷を、照葉樹林文化論をベースに解説します。また、その中で信州の里山景観がどのような歴史的変遷をたどって現在に至るのか、最新の研究知見に基づいて紹介します。	一般	講義
G7	ヨーグルトの健康効果～乳酸菌研究の最前線～	超学系 教授 下里 剛士	我が国では、機能性食品の概念が広く浸透し、食の3次機能（生体調節機能）に対する人々の興味・関心が高まっています。とくに乳業メーカー各社による熾烈な開発競争の成果として、多彩でスタイリッシュなヨーグルトが店頭に溢れています。本講座では、我が国が世界をリードしている「機能性ヨーグルト」にスポットをあて、乳酸菌研究の最前線について解説します。	中、高、 一般	講義
G8	畜産物のエシカル消費に向けて 一家畜生産における社会的責任とアニマルウェルフェア	農学系 教授 竹田 謙一	持続可能性に配慮したエシカル商品を目にするようになりました。畜産物でのエシカル対応として、アニマルウェルフェアに配慮した家畜の飼養管理があります。アニマルウェルフェアとは何でしょうか？ 本講座では、アニマルウェルフェアについて、平易に解説し、様々な食品企業が取り組みだしている事例や、生産現場で簡単に実践できる取り組み事例について紹介します。	中、高、 一般	講義
G9	トウガラシの科学	農学系 教授 松島 憲一	中南米起源のトウガラシは独特の辛味から世界各地で利用されており、地域によっては個々の民族を特徴づける香辛料にもなっています。あまり辛いものを食べない日本においても七味唐辛子などのように根強くその食文化に定着しています。また、トウガラシと言えば辛くて赤いのが特徴ですが、その辛味や赤い色には優れた機能性があると言われています。本講座ではトウガラシの食文化とその科学について迫ります。	小、中、 高、一般	基本的に講義 (相談に応じます)
G10	信州の伝統野菜について	農学系 教授 松島 憲一	長野県の在来野菜の認定制度である「信州の伝統野菜」では85品種もの野菜品種が伝統野菜として選定されています。古ぼけた時代遅れの野菜ではなく、地域の郷土食の素材として文化的に、地域の特産物として経済的に、植物遺伝資源として科学的に重要な野菜であるといえます。そんな信州の伝統野菜について紹介、解説します。	小、中、 高、一般	基本的に講義 (相談に応じます)
G11	木材生産だけじゃない！市町村の森林資源を活かす	農学系 助教 三木 敦朗	森林は日本の陸地の7割を占め、多くの市町村でも最大の資源です。でもそれをまだまだ活用できていません。木材生産だけじゃないんです。どんな可能性があるのでしょうか。	中、高、 一般	講義

分類 番号	講演題目	講師名	内容	対象	講座形式
G12	マツタケの人工栽培	農学系 教授 山田 明義	マツタケ人工栽培に関する研究の歴史、現状と今後の展望について話します。	一般	講義
G13	きのこの生態	農学系 教授 山田 明義	きのこの自然界での役割、生物学的な位置づけを話します。	小、中、 高、一般	講義

☆関連するテーマの講座 (こちらをご参照ください)

A18	持続的食・農・環境論	総合人間科学系／グローバル化推進センター	浜野 充
D3	地球沸騰化時代の食と農業	農学系	齋藤 勝晴
D4	農地の環境、農業が作る環境	農学系	鈴木 純
D14	地球温暖化問題と森林・木材の役割	農学系	安江 恒
F4	大豆食品の健康機能性	農学系	片山 茂
F5	ナスの健康効果	農学系	中村 浩蔵
F7	GMO (遺伝子組み換え生物) の栄光と蹉跎～育種技術の未来～	繊維学系	林田 信明

<h1 style="margin: 0;">H 医療・福祉</h1> 医療・福祉・公衆衛生 など					
分類 番号	講演題目	講師名	内容	対象	講座形式
H1	今日から始める肺炎予防	医学系（附属病院） 准教授 牛木 淳人	肺炎は日本人の死因として多い病気です。特に高齢者の方では体の抵抗力が弱い ため、重症な肺炎になってしまうことがあります。「風邪は万病の元」とい いますが、肺炎も風邪をこじらせてかかってしまう病気です。この講座では風 邪や肺炎の予防法について解説します。	一般	講義
H2	HIV感染症の現状	医学系（附属病院） 助教 金井 信一郎	HIVは年月をかけて徐々に免疫を低下させるウイルスで、発見が遅れるとさまざ まな日和見感染症を起こしやすくなり、いわゆるAIDSに至ります。一方で、 HIV治療の進歩は著しく、早期発見、早期治療によってAIDSへの進展を抑える ことができ、日常生活を支障なく生活できるようになっています。HIV感染症の 現状について、わかりやすくお話しします。性感染症も含め、感染症は全般的に 対応可能です。	中、高、 一般、医 療・福祉 関係者	講義
H3	感染症から身を守る	医学系（附属病院） 助教 金井 信一郎	新型コロナ等の感染症から身を守るにはどうしたらよいか。手洗い、うが い、マスクなどは本当に効果があるのかなど巷にあふれる感染対策のお話をし ます。ご希望に応じて手洗い方法の実習も可能です。	小、中、 高、一般	講義・実技
H4	忍び寄る吸血昆虫トコジラミの脅 威と対策	医学系（附属病院） 助教 金井 信一郎	欧米を中心として薬剤耐性トコジラミが流行しており、旅行者の荷物ととも に持ち込まれ、インバウンドの増加に伴い日本でも被害が拡大しています。現在 は宿泊施設での被害が主ですが、一般家庭や病院・福祉施設での被害も増えて います。トコジラミに何回か刺されるとかゆみで夜も眠れないこともあります 。被害の予防、被害時の対処方法などを解説します。	一般（医 療・福祉 関係、宿 泊関係、 その他）	講義
H5	性感染症と望まない妊娠	保健学系 教授 金井 誠	性感染症は「性交経験が無くても感染する」、「将来不妊症となる」、「赤 ちゃんにも影響する」などの可能性があります。これらを知らないことや、 望まない妊娠を経験することは、肉体的にも精神的にも、将来にわたる大きな 影響や後悔を生じる危険があります。中学生の頃から正しい性知識の教育が必 要であり、生徒・保護者・教員などに、専門家の立場からわかりやすくお話し いたします。	中（3年 生）、 高、一般	講義
H6	てんかんとのお上手な付き合い方 -てんかんの外科治療も含めて-	医学部 准教授 金谷 康平	てんかんは赤ちゃんから年配の方まで全年齢に起こりうる病気、1%の方にて んかんが発症すると言われていいます。てんかんには薬の治療が基本ですが、難 治な場合には手術を行うこともあります。てんかんには様々なタイプと治療法 があるため、どのようにてんかんと付き合い合っていかわからないことも多くあ ります。そこでてんかんとのお上手な付き合い方、またてんかんの外科治療も含 めてわかりやすく説明します。	小、中、 高、一 般、医療 福祉関係 者	講義
H7	慢性腎臓病とは・・・？慢性腎臓 病を進行させない方法について	医学系（附属病院） 診療教授 上條 祐司	慢性腎臓病は新たな国民病と言われている重要な疾患です。慢性腎臓病の原因 は高血圧、糖尿病、肥満、高脂血症、高尿酸血症など生活習慣に關係するもの が多いため、生活習慣の改善により進行を抑制できる可能性があります。本講 義では慢性腎臓病の概説とその予防法について解説します。	一般	講義
H8	命をつなぐ愛の医療—腎移植につ いて—	医学系（附属病院） 診療教授 上條 祐司	透析医療を必要とする末期腎不全患者が増加しており、社会的問題にもなっ ています。末期腎不全患者さんが、腎機能を取戻し健常人とほぼ同じ生活を送る ことができるようにする最善の治療は腎移植です。しかしながら、日本では、 死後に腎提供が行われる頻度が極めて低いのが実情です。本講義では、命をつ なぐ愛の医療として、腎移植について概説し、腎提供についての理解を深めて もらうことを目的としています。	小、中、 高、一般	講義
H9	高血圧は何故悪い？高血圧と臓器 障害について	医学系（附属病院） 診療教授 上條 祐司	生活習慣病の中で最も多い疾患が高血圧です。高血圧は、心臓、血管、腎臓を 痛め、寿命を縮めるため良好なコントロールが必要となりますが、日本におい ては高血圧に罹患しているものの未治療であったり、治療不十分な患者が大変 多いのが現状です。そのため、改善すべき健康課題の筆頭に挙げられます。高 血圧は塩分摂取量との関連が深く、生活習慣の改善が必要です。本講演では、 高血圧が何故悪いのか、またその治療法や生活習慣改善法について解説しま す。	一般	講義
H10	支援をデザインする：作業療法士 の仕事	保健学系 教授 上村 智子	病気や障害があっても、心身機能を補う環境や、生活の不便さを減らす支援機 器があれば、日常生活の様々な動作を安全・安心に行うことができます。で も、人がライフスタイルを変えるのは簡単ではありません。作業療法士は、対 象者の身体や精神の状態を把握して、ライフスタイルに適合するよう、環境や 支援機器を選び、実際の生活に定着するまで支援します。そんな実践を紹介し ます。	高、一般	講義

分類番号	講演題目	講師名	内容	対象	講座形式
H11	口の健康と全身の健康	医学系 教授 栗田 浩	口の中の状態は、体の健康と深い関係があります。歯を含めた口の健康と全身の健康との関連についてお話しします。	一般	講義
H12	咀嚼と健康	医学系 教授 栗田 浩	咀嚼（そしゃく）とは摂取した食物を歯で咬み、粉砕することです。これにより消化を助け、栄養をとることができます。咀嚼は単に栄養を取るためだけでなく、全身の健康に必要であることがわかってきました。よく噛むことにより、脳の働きを高めたり、がんや糖尿病などを予防する効果があることがわかっています。	一般	講義
H13	ネズミで探る！遺伝子のヒミツ	医学系 教授 新藤 隆行	遺伝子とは、「生命の設計図」です。遺伝子を書き換える技術（遺伝子組換え技術）は、医薬品を早く効率的に開発するためにとても重要な技術で、2020年にノーベル化学賞を受賞しました。私の研究室は、信州大学で唯一、遺伝子組換え動物を新しく作り出す技術を駆使した研究を行っています。遺伝子と病気との関係を調べ、新薬開発を目指す基礎研究の現場の様子を解説します。	中、高、 一般	講義
H14	自閉症の原因の解明	医学系 教授 田淵 克彦	自閉症を含む発達障害の原因は、今のところ完全に解明されておらず、このため早期診断や薬物療法の開発が遅れております。近年、自閉症の原因としてシナプスの異常が指摘されるようになっており、自閉症の原因となりうるシナプス分子の遺伝子異常が数多く見つかってきました。これらの遺伝子異常を有する動物モデルを用いた研究など、自閉症の原因を解明するための研究の最前線について解説します。	中、高、 一般	講義・講演
H15	持続可能な開発のために今、できること—エコヘルス教育のすすめ—	教育学系 准教授 友川 幸	開発途上国の健康、環境問題について、現地での滞在経験をもとにお話しします。急速な都市化、近代化が進む開発途上諸国における環境と健康の密接な関係を知り、人々の健康観、環境観に触れながら、環境の変化が人々の生活様式や健康に与える影響について考えます。また、日本で生活する自分たちが未来の健康と環境の保持増進のために、今、できることを考えていきます。	小、中、 高、一般	要相談
H16	日本の社会保障・医療制度について	医学系 教授 野見山 哲生	私達はどのような社会保障・医療制度の下で生活しているか、次世代を担う学生・生徒（小・中・高校生）に概説します。	小、中、 高	講義
H17	身近な化学物質と健康	医学系 講師 長谷川 航平	化学技術の発展により、自然界にはもともと存在しない物質や、自然に戻りにくい物質が数多く生み出されてきました。これらの化学物質は、生活を便利で豊かにする一方で、私たちの健康に影響を及ぼす可能性も指摘されています。この講座では、身のまわりの製品に含まれる化学物質を例に、どのような健康への影響が考えられるのかについて、最新の知見をわかりやすく紹介します。	小、中、 高、一般	講義
H18	喫煙を考える	医学系 教授 花岡 正幸	タバコの煙には4,000種類以上の化学物質が含まれ、吸う方のみならず吸わない方の健康まで障害します。禁煙が成功しないのはタバコ煙に含まれる“ニコチン”に依存性があるためで、喫煙習慣は1つの病気として捉えられるようになりました。本講座では、タバコにまつわるさまざまな問題をクローズアップします。また、最近普及している電子タバコ／加熱式タバコについてもお話しします。	小、中、 高、一般	講義
H19	生活習慣病の改善と予防（成人向け、青少年向け）	医学部保健学科 特任准教授 日高 宏哉	私たちの生活習慣や食生活では、コンピュータ、携帯電話、ファストフードやコンビニエンスストアなどのない生活は考えられません。そのような環境の中で、知らぬ間に生活習慣病に陥っている可能性があります。健康であるため、または健康な生活を取り戻すための正しい生活習慣や食生活の知識と行動、そして血液検査値の評価が肝要です。家族や社会全体での取り組みについて解説します。	小(高学年)、 中、高、 一般	講義
H20	身近になりつつある遺伝子検査	保健学系 教授 松田 和之	感染症遺伝子（PCR）検査、がんゲノム検査という言葉がニュース等でも聞かれるようになってきています。実際の医療現場に遺伝子検査が導入され、迅速な感染症検査やゲノム情報に基づいた治療の選択等が可能になってきています。そもそも遺伝子検査では何が分かるのか、分からないのかなどについて、検査法を交えながら解説します。	中、高、 一般	講義
H21	身近な依存症、薬物中毒、乱用	医学系（総合健康安全センター） 教授 森田 洋	薬物乱用や中毒・依存は大麻や覚せい剤だけでなく、ニコチン、アルコール、市販薬、湿布などでも生じており、多くの健康被害をもたらしています。また、依存はゲームや人間関係でも生じ多くの問題をひきおこします。依存、中毒、乱用の現状について解説します。	教育行政 等関係者	講義

分類番号	講演題目	講師名	内容	対象	講座形式
H22	認知症—患者家族を皆で支えるとともに発症を予防する—	医学系（総合健康安全センター） 教授 森田 洋	認知症は単なる物忘れとは異なります。地域の多くの方が認知症の症状と対処法を理解し、患者や家族を支えることで、過ごしやすい社会を創ることが出来ます。また、認知症の発症をできるだけ予防し、進行を遅らせる方法についても解説します。（市町村が開催する認知症サポーター養成講座として実施することも可能です。）	一般	講義
H23	てんかんの正しい知識	医学系（総合健康安全センター） 教授 森田 洋	てんかんは100人に1人程度にみられるありふれた疾患ですが、てんかん発作の多くはけいれんではありません。患者だけでなく周囲が正しく疾病を理解し対処すれば、多くの場合問題なく日常生活をおくる事が出来ます。いろいろなてんかん発作と発作時の対処法や日常生活の注意点を中心に解説します。	教育医療行政等関係者	講義
H24	長引く咳（せき）の対処法	保健学系 教授 安尾 将法	咳（せき）の原因はたくさんあります。ぜんそくやかぜの影にかくれて、肺がんや結核の可能性も……。どんな症状のときにどんな病気が考えられるのか？どんな時は病院で検査を受けた方が良いのか？画像などを交えて解説します。	中、高、一般	講義
H25	若者が喫煙をしないために	保健学系 教授 安尾 将法	加熱式タバコ（電子タバコ）は安全？加熱式タバコに替えたら禁煙に成功しやすい？加熱式タバコの方が害が少ないから紙巻きタバコよりも体に良い？このような問題や疑問に対して、日本の現状、臨床試験などの結果などできるだけ科学的に正しいと思われる根拠を用いて解説します。	中、高、一般	講義

☆関連するテーマの講座（こちらもご参照ください）

A23	大学で学ぶ経済学・経営学—医療の視点から—	社会科学系	増原 宏明
C5	ウイルスをちゃんと知ろう	理学系	小笠原 慎治
C6	遺伝子組換え作物って本当に体に悪いの？	理学系	小笠原 慎治
C7	バイオテクノロジーによる動物の臓器再生	農学系	鏡味 裕
C22	蚊の科学	繊維学系	平林 公男
F2	子どものアレルギー対応～食物アレルギーを中心に～	教育学系	沖嶋 直子
F6	個人データ駆動型個別ヘルスケア	農学系	中村 浩蔵
I8	ポジティブに生きるための心理学	人文科学系	菊池 聡
I50	障害疑似体験から考えるインクルージョン	教育学系	宮地 弘一郎

I 教育・心理

青少年・教育学・総合学習・学校教育・家庭教育・子育て・社会人大学院 など

分類番号	講演題目	講師名	内容	対象	講座形式
11	総合学習・課題研究等での研究のまとめ方・プレゼンテーション入門	教育学系 教授 伊藤 冬樹	総合学習や課題研究など、中学校、高等学校でも研究を行う機会が増えてきており、得られた成果を発表していくことが求められてきています。本講座は、「どうやって研究をまとめたらいいのか」「プレゼンテーションってどうすればいいの」といったニーズにお応えします。実際の状況に合わせて、論文のまとめ方、パワーポイントの構築の仕方など研究発表の方法について解説します。	中、高、 一般	講義・実習
12	学級経営に役立つ体育の授業づくり	総合人間科学系 講師 加藤 彩乃	『体育』は、仲間と関わり合いながら、体と頭を動かして学ぶ魅力的な時間です。「運動を楽しめる体づくり・集団づくり」や「仲間の得意を見つけ・自分の得意を活かすチームづくり」をテーマとした、学級経営にもつながる講義やワークショップを行います。講師による子どもたちへの出前授業や、先生と協働した授業づくりも可能ですので、ご相談ください。	幼、小、特別支援学校の先生・幼児児童生徒	講義・実践・ ワークショップ 等
13	運動が苦手な先生のための体育の授業づくり	総合人間科学系 講師 加藤 彩乃	『体育』は、仲間と体を動かしながら学ぶことができる魅力がありますが、様々な指導の難しさもあります。この講座では、「運動の何をおさえ、どう指導すればいいのか?」や「先生のお悩み解決!」をテーマに講義やワークショップを行います。先生と協働した授業づくりや、講師による子どもたちへの出前授業も可能ですので、ご相談ください。	幼、小、特別支援学校の先生・幼児児童生徒	講義・実践・ ワークショップ 等
14	運動が苦手な子どもを含む集団に向けた体育の授業づくり	総合人間科学系 講師 加藤 彩乃	『「運動は上手ではないけど好き!」という子どもたちが増える体育』をテーマとした講義やワークショップを行います。また、「運動が苦手な子どもも、得意な子どもも満足できる授業づくり」について講師と先生方とで解決の糸口を探っていきます。講師による子どもたちへの出前授業や、先生と協働した授業づくりなども可能ですので、ご相談ください。	幼、小、特別支援学校の先生・幼児児童生徒	講義・実践・ ワークショップ 等
15	心理教育アセスメントの基礎	教育学系 教授 上村 恵津子	学校で様々な苦戦を抱える子どもをどのように支援したらよいか?…このような支援の計画を立てる基盤となるのが「アセスメント」です。アセスメントの目的、方法、内容、留意点等について、学校心理学の視点から概説します。	教員	講義、演習
16	子どもとのコミュニケーションを考える	教育学系 教授 上村 恵津子	「子どもとコミュニケーションがとれない…」伝えたいこと・教えたいこと・アドバイスしたいことはたくさんあるのに、そんな思いが子どもにうまく伝わらない。話をしようとする、すぐけんかになってしまう。…こんな子どもとの関わりをコミュニケーションやカウンセリングの視点から見直し、対応のポイントを探ります。	一般	講義、演習
17	だまされる心の心理学	人文科学系 教授 菊池 聡	私たちはなぜ特殊詐欺や悪質商法、オカルト番組、ニセ科学などに簡単にだまされてしまうのか。その心の動きを認知心理学から考え、ものごとを批判的に考えるための基本的な姿勢と知識を説明します。高校などで開講の場合は、生徒の皆さんには、事前に簡単なアンケート調査(匿名15分程度)へのご協力をお願いします。(本年度は、実施のご希望に添えない期間・日程が多くあります。)	高、一般	講義
18	ポジティブに生きるための心理学	人文科学系 教授 菊池 聡	毎日の生活や勉強、仕事の中で、私たちはさまざまなストレスにさらされます。そんな中で悲観的になったり落ち込んだりすることをどうすれば防ぐことができるのでしょうか。単なる精神論や人生訓ではなく、科学的な「ポジティブ心理学」の成果をもとに、私たちの心の仕組みを適切に理解し、前向きで楽観的な生き方を実現するための「自分だまし」の方法を考えます。(本年度は、実施のご希望に添えない期間・日程が多くあります。)	高、一般	講義
19	錯覚の不思議な世界	人文科学系 教授 菊池 聡	私たちの視覚と、実際の対象がずれてしまう不思議な体験が、眼の錯覚(錯視現象)です。たとえば、同じ長さや形の物体が、全く違って見えてしまいます。こうした錯視の数々を実際に体験しながら、心と脳が働くしくみを楽しく学びます。講義形式ですが、少人数の場合は工作体験も可能です。学校で実施の場合、可能であれば心理学のアンケート調査にご協力下さい。(本年度は、実施のご希望に添えない期間・日程が多くあります。)	中、高、 一般	講義
110	世界の多様な音楽表現に関するワークショップ	教育学系 准教授 桐原 礼	多様な音楽表現を実践し、異文化理解や多文化共生について理解を深めましょう。	大学、保育士養成、教育委員会、教育センター、研究会、ほか教育機関	講義・実技

分類番号	講演題目	講師名	内容	対象	講座形式
I11	身近な素材を扱った音楽表現に関するワークショップ	教育学系 准教授 桐原 礼	身近な素材や身体の動きで音楽を表現しましょう。楽譜や楽器に依らない音楽表現を楽しみましょう。	小学校、特別支援学校、大学、保育士養成、教育委員会、教育センター、研究会、ほか教育機関	講義・実技
I12	教育の歴史―「試験」や「入試」を中心に―	総合人間科学系 准教授 小暮 克哉	日本の明治以降の学校教育の歴史について、特に近代学校における試験や入試について、その導入経緯や問題点などを解説します。学校の歴史やテストの歴史を知ること、小中高校生の進路選択の幅を広げる一助になればと思います。	小、中、高	講義など要望に応える
I13	英語のコミュニケーション活動 (小学校から高校まで)	教育学系 教授 酒井 英樹	英語によるタスク活動を含めたさまざまなコミュニケーション活動を体験します。そして、英語を使ってやりとりをする楽しさを味わいます。教員を対象とする場合には、コミュニケーション活動を英語指導に用いる際の考え方にも触れます。※必要なものは、プロジェクター及びスクリーンです。	小、中、高、一般	実習・実技あり
I14	第2言語習得のはなし(英語はどのようにして学ばれるか)	教育学系 教授 酒井 英樹	学習者が英語を学んでいくときにどのようなプロセスを経ていくのかということを紹介しながら、第2言語習得のおもしろい知見や、英語学習への示唆に触れていきます。※必要なものは、プロジェクター及びスクリーンです。	中、高、一般	実習・実技あり
I15	わかりやすい説明とは?―認知心理学から考える―	教育学系 教授 島田 英昭	「説明がわかりにくい!」と思った経験はないでしょうか。機器の操作マニュアル、標識、教科書、案内状など、身の回りには様々な「説明」があります。本講座では、説明がわかりにくい原因を認知心理学の立場から分析し、わかりやすくするための方策を考えます。説明を考える、すべての方が対象です。	中、高、一般	講義・演習
I16	心理学から考えるモチベーションアップ術	教育学系 教授 島田 英昭	何かを続けたい、でも、なかなか続かない、こんな経験は誰でもあるでしょう。何事もモチベーション(やる気、動機づけ)がなければ進みませんよね。本講座では、心理学の観点からモチベーションをアップさせる方法を紹介し、モチベーションはどこから生まれるのか?合理的にモチベーションをアップさせる方法を一緒に考えましょう。モチベーションを考える、すべての方が対象です。	中、高、一般	講義・演習
I17	心理学を知る	教育学系 教授 島田 英昭	「心理学入門」「心理学からみた伝わる文章を書く技術」「防災の心理学」「心理学からみたスマホ時代の学び方」「心理テストと学力テスト」「ヒューマンエラーの心理学」「感情とつきあうための心理学」等、ご希望のトピックを通して心理学を紹介します。中学生、高校生には大学案内を追加することもできます。内容・形式(講義/演習等)については、申し込み前に事前相談を推奨します。	中、高、一般	講義・演習
I18	AI時代の学び―教育心理学から考える―	教育学系 教授 島田 英昭	1人1台のICT機器が行き渡り、デジタルによる学びが当然になりました。そして、ChatGPTをはじめとする生成AIが社会を変えようとしています。本講座では、子どもを取り巻く社会環境の変化と教育心理学の知見を組み合わせ、デジタル時代、AI時代の学びについて考えます。講義と演習を織り交ぜた講座を予定していますが、ご要望に応じてアレンジします。	教員(小・中・高)、一般	講義・演習
I19	生命をつなぐしくみ ― 生殖のひみつ	農学系 准教授 高木 優二	精子や卵子について、どのくらい知っていますか。肉眼で見えるのか、いつ・どこで作られるのか、そしてゴリラとヒトの精巣はどちらが大きいのか…。そんな身近な疑問を入り口に、哺乳類の生殖のしくみをやさしく解説します。精巣の働きを科学的に探りながら、生命の神秘や「性」の大切さについて一緒に考えてみましょう。子どもから大人まで楽しめる、学びと発見の時間をお届けします。	小(5年生以上)中、高、一般	講義
I20	高等教育における発達障害学生の支援	教育学系 教授 高橋 知音	高等教育機関で学ぶ、発達障害のある学生を支援するにはどうしたらよいか、その考え方や具体的方法などについて紹介します。概論的講義、支援者向けのより専門的講義、専門家向けの演習、少人数の事例検討など、形式や進め方は相談で決めます。	高等教育機関教職員、発達障害のある学生の支援に関わる専門職員	講義
I21	課題解決グループワーク	教育学系 准教授 瀧 直也	現代の青少年課題として、直接的な体験の不足と対人関係の希薄さがあげられます。その打開策として、近年、自然体験活動が重要視されています。本講座では、自然の中での課題解決ゲームを提供し、青少年のコミュニケーション能力や他者と協働する力を育みます。	小、中、高	グループワーク

分類番号	講演題目	講師名	内容	対象	講座形式
122	ファシリテーションの理論と実践（3時間コース）	総合人間科学系 准教授 田村 徳至	現代は自分自身の個性と同時に他者との協調性も重視される社会です。ちょっとした行き違いが大きな問題に発展してしまうこともあります。本講座では、自分の考えを大切にしながら、他者と協調することの重要性を付箋紙を活用した演習（グループワーク）を通して学びます。全体の80%程度が演習（グループワーク）となります。	中、高、 一般	講義・演習（グループワーク）
123	日本の黄金の歴史～古代から江戸時代を中心に～	総合人間科学系 准教授 田村 徳至	本講座では「金（きん）」に関するお話をいたします。「金」は錆びない・腐らない・加工が容易（柔らかい）という3つの特徴を持っています。我が国の古代の金貨から江戸時代の金貨（小判など）までを概観します。	中、高、 一般	講義
124	日本のお金の歴史—明治時代～平成・令和—	総合人間科学系 准教授 田村 徳至	2024年7月1日に30年ぶりに紙幣の肖像が変更になりました。この講座は、世界史を中心にお金の誕生から現代に至るまでのお金の歴史を概観します。お金はなぜ誕生したのか……。どのような動きがあるのか……。他にお金にまつわる伝説やお金の豆知識などもお話します。	中、高、 一般	講義
125	ファシリテーションの実践（2時間コース）	総合人間科学系 准教授 田村 徳至	本講座は、「ファシリテーションの理論と実践」講座から、理論編とアイスブレイク、発表（全体共有）を除いたパターンとなります。簡単な説明の後にワークとなります。	中、高、 一般	講義・演習（グループワーク）
126	突然グラッ！！その時、あなたは どうする・・・	総合人間科学系 准教授 田村 徳至	我が国は甚大な被害をもたらす大規模な地震が度々発生しています。そこで本講座は、災害（主に地震）が発生した時、自分はどうするのか、どうすればよいのかを「クロスロード（分かれ道）」というゲームを通して考えます。	中、高、 一般	講義・演習（グループワーク）
127	えっ！！それ、買ったの？その行動を「行動経済学」の知見から迫る！！	総合人間科学系 准教授 田村 徳至	私たちは常に合理的に行動しているというわけではありません。時には非合理的な行動をしています。本講座では、行動経済学（従来の経済学に心理学の要素を加味して考えたもの）の知見を、個人ワークをしていただきながら身に付けていただこうと考えています。	中、高、 一般	講義・演習（個人ワーク）
128	日本の黄金の歴史～明治時代から令和にかけて～	総合人間科学系 准教授 田村 徳至	金（1g）は、2025年11月現在20,000円台で取引されています。「有事の金」というのは有名です。本講座は、明治時代から令和における我が国の「金」との関わりについてお話をいたします。	中、高、 一般	講義
129	THE 金（きん）・お金のお話	総合人間科学系 准教授 田村 徳至	本講座は、三井・住友・三菱・安田などの財閥は「金」をどのように利用して発展してきたのか。「円」「金本位制」「金の解禁」、そして昭和の「ニクソンショック」など、金の変動が我が国経済にどのように影響してきたのか。記念硬貨はどのようなものかなど、2025年度は、第3弾として明治時代以降の「金（きん）、お金」のお話をいたします。	中、高、 一般	講義
130	お金の心理学「勘定と感情」のひみつ	総合人間科学系 准教授 田村 徳至	私たちは時として「お金」を巡って争うことがあります。さらに、お金が関係することになると冷静さを失い、人を精神的・肉体的に傷つけてしまうこともあります。私たちはお金をどのように勘定し、感情をコントロールしていけばよいのかについてお話しいたします。	中・高・ 一般	講義・演習（個人ワーク）
131	「経済って難しい？」そんなことはないですよ	総合人間科学系 准教授 田村 徳至	経済には興味があるけど、難しいというイメージがあるかと思います。日々変動する株価・為替・貴金属の値段……。数字（値段）には関心があるけど、それ以外はどうでもいい。そんなことを考えていませんか？本講座では「人」を中心とした経済についてお話いたします。	中・高・ 一般	講義・演習（個人ワーク）
132	開発途上国の子どもたちの生きる力—日本の良さの再発見—	教育学系 准教授 友川 幸	アジアやアフリカの開発途上国の子どもたちの日常生活や学校の様子、健康問題について、現地での滞在経験をもとにお話しします。異なる言語や、文化や食習慣、生活様式に触れることで、日本の生活や文化の良い所、悪い所を一緒に考えてみましょう。	小、中、 高、一般	要相談

分類番号	講演題目	講師名	内容	対象	講座形式
133	「我が国の言語文化」で楽しく学ぶ国語の世界	教育学系教授 西 一夫	「学習指導要領」が改訂されて、従来の「伝統的な言語文化」は大きな枠組みである「我が国の言語文化」に組み込まれました。これによって学習の枠組みはさらに拡大しました。そうした言語文化の学習について、具体的な事例を経験しながら「学習指導要領」が目指す新たな学びの可能性を考えるきっかけを創ります。	小、中、高、一般、教員	講義
134	データサイエンス教育について見てみよう	総合人間科学系准教授 平井 佑樹	データサイエンスに関連する大学の学部・学科等が近年多く開設され大変注目を浴びています。「高等学校数学科や情報科とのつながりは?」「大学で行うデータサイエンス教育はどのようなもの?」など、様々な疑問をお持ちの方もいると思います。本講座では、昨今のデータサイエンス教育について概観するとともに、ご希望に応じて簡単な演習（統計分析、アルゴリズム演習など）を行います。	中、高、一般	講義・演習（希望に応じて対応可）
135	単元構成を見つめなおす	教育学系助教 藤森 隼一	授業を1時間ととらえるのではなく、単元を通して見つめてみましょう。担当する子どもにとって、どんな単元構成がっているのか、ひと単元内で子どもの意識はどのようにつながっているのかなど、子どもにとって考えやすい単元構成とは何なのかについて、一緒に考えましょう。	一般（教職員）	講義・演習
136	家庭が望む学校教育と学校が望む家庭教育	教育学系教授 伏木 久始	めまぐるしく変動する教育政策の下で、多様な教育ニーズをもつ個々の家庭と、伝統的な価値を大事にする学校とが、子どもの教育実践にどのように連携すべきかを考え合います。	一般、教職員	講義
137	“ふつう”という思い込みに気づく	教育学系教授 伏木 久始	私たちは自分の限られた経験をもとに、自分の視野の限界を意識しないままに「判断」しています。そのことは「ふつう」のことですが、異文化や異質な集団や自分とは違うタイプの人と接する際に配慮したいことがあります。また、自分の思い込みに気づくと他者への見方が変わります。「人権」を考える機会にもなります。（1時間程度の場合は講演形式で行います。）	一般、教職員、児童・生徒、保護者…すべてOK（応相談）	講義（+演習）
138	少子・人口減少社会に求められる教育を考える	教育学系教授 伏木 久始	近年、全国的に人口減少問題が深刻化しています。過疎化、少子化が進行する長野県の実態に即して、未来の社会を担う子どもたちにどのような教育環境を用意すべきなのかを一緒に考え合ひましょう。	一般、教職員	講義
139	総合的な学習のカリキュラム・マネジメント	教育学系教授 伏木 久始	総合的な学習（探究）の時間は、地域の事情や学校行事との調整を行いつつ、教科・領域との関連を図ってカリキュラムを開発していくことが期待されています。また、児童・生徒の主体的な学びに即して展開案を修正しながらカリキュラムをつくっていく実践でもあります。各校の実態に即して“総合”を核としたカリキュラム・マネジメントを一緒に考えます。	教職員	講義、演習、グループワークあり
140	自由進度学習の考え方と指導法	教育学系教授 伏木 久始	子どもが自律的に学ぶための学習方法の一つである「自由進度学習」を紹介します。単元ごとに（先生が教え込むのではなく）子どもが自分の力で自分のペースで取り組む授業づくりに挑戦する先生を対象とした研修講座です。	教職員	講義（+演習）
141	フィンランドの人々の生き方と教育	教育学系教授 伏木 久始	1年間フィンランドで研究生生活を過ごした教育学者の目にはフィンランドという国がどのように映ったのかを、様々な写真を紹介しながら具体的にご紹介します。そもそも私たちは何のために学び、何のために働くのか？一緒に問い直してみませんか？	一般、教職員	講義
142	「勉強」について考える	農学系助教 細見 昭	「勉強」とは何でしょう。何なのか自分の答えはあるのでしょうか。「勉強」は何のために行うのでしょうか。何のために行うのか自分の答えはあるのでしょうか。子供も大人も一度立ち止まって考えてみませんか。一緒に考えて、各自が自分なりの答えを出すことを目指します。	中、高、一般	講義（多少のグループワークあり）
143	対象喪失：大切な対象を失ったとき	教育学系教授 水口 崇	人生の中で、我々は大切な対象の喪失を必ず経験します。両親やきょうだい、配偶者、友人の喪失、病気や怪我、加齢による身体の機能や自由の喪失、職業や社会的地位の喪失など、依存し必要不可欠であった対象を喪失することは誰もが経験することです。凄惨な事件や事故が次々と起こる現代社会の中で、悲しみを直視し、それに耐えていくことの意義について説明します。	中、高、一般	講義

分類番号	講演題目	講師名	内容	対象	講座形式
144	乳幼児期の言語発達と障害	教育学系 教授 水口 崇	乳幼児期は、多種多様な能力が発達する時期です。なかでも、言葉の発達は著しく、叫喚が音声に変化し、意味のある単語が発せられます。そして、急速に語彙の数を増やし、複雑な文法の文を話すようになります。この時期の言語発達のプロセスを解説すると同時に、発声やコミュニケーションなどの障害について解説致します。	幼稚園教諭、保育士など	講義
145	乳幼児期の愛着形成とその後の影響	教育学系 教授 水口 崇	愛着（アタッチメント）は、特定の対象に向けられる情緒的な絆のことです。養育者と過ごす毎日の中で、愛着が形成されます。愛着にはタイプがあり、それによって重要な人物とのコミュニケーションが変わってきます。さらに、乳幼児期に形成された愛着のタイプは、青年期以降にも保持されており、一定の影響をもたらします。講義では愛着の形成とその後の影響について解説します。	幼稚園教諭、保育士など	講義
146	乳幼児期の社会性の発達と支援	教育学系 教授 水口 崇	集団で生活していく上で、適切な社会性を身につけることは不可欠です。乳幼児期は、家族以外の集団と初めて生活を始める時期です。それ故に、必ずしも円滑に集団になじんでいくとは限りません。本講義では、社会性の発達と集団になじめない乳幼児に対する支援について解説します。	幼稚園教諭、保育士など	講義
147	「まね」による学び	教育学系 教授 水口 崇	我々は、先人の発見や創造を学ぶことで、文化的な生活を享受しています。発見や創造の学習は、子どもも大人も「まね」を通して行われます。特に、社会・文化集団に初めて参入していく乳幼児期の子どもにとって、「まね」は重要な役割を果たしています。この講義では、「まね（模倣）」を通じた乳幼児・児童の学びやヒトの模倣の独自性などを解説します。	幼稚園教諭、保育士、小学校教諭、一般など	講義
148	ESD/SDGsを学び、進めるために	教育学系 准教授 水谷 瑞希	ESD（持続可能な開発のための教育）は環境や貧困、平和といった様々な地球規模の課題を自分ごととして捉え、その解決のために考え、行動することを通じて、持続可能な社会づくりの担い手を育む学習活動で、SDGs（持続可能な開発目標）達成の鍵としても注目されています。本講座では、ESDやSDGsの概念やその取り入れ方について、座学とグループワークを通じて考えます。	小、中、高、一般	講義、グループワーク
149	重い障害のある子どもの願い探しをしよう	教育学系 教授 宮地 弘一郎	会話や表現が難しい重度重複障害のある子どもは、身の周りの世界をどのように受け止めたり、楽しんだりしているのでしょうか？本講座では、心を見える化するための心拍、まばたき、脳波などを用いながら、重度重複障害のある子ども一人ひとりの「びっくり」や「わくわく」を探る活動を行います。先生方も活動に参加していただきます。子どもの参加上限は1～3人程とします。（応相談）	特別支援学校（教職員・児童生徒・保護者）、児童発達支援通園施設（職員・幼児児童・保護者）	講義・個別または小集団活動・実験あり
150	障害疑似体験から考えるインクルージョン	教育学系 教授 宮地 弘一郎	講座では、視覚障害や運動障害などを疑似的に体験し、健常者が捉える生活の「当たり前」との違いやインクルージョンの視点について学びます。障害疑似体験では、小学生でも工作可能な程度の体験教材を製作します。 準備物（受講者数分必要）：ハサミ、定規、セロテープ、折紙2枚 ※食べにくさや飲みにくさも体験したい場合は、追加準備物として、ペットボトル飲料やスナック菓子をご準備ください。	小、中、高	講義・演習
151	教育の情報化・ICT活用教育・遠隔教育	教育学系 准教授 森下 孟	GIGAスクール構想を踏まえた1人1台端末の活用による主体的・対話的で深い学びやオンライン授業について解説したり、ワークショップ等を通じて授業づくりを一緒に考えたりします。学校などのご要望に応じて校内研修の時間にお伺いしたり、講義・演習の時間や内容を調整することもできますのでお気軽にご相談ください。	教員（幼・小・中・高）	講義・演習
152	教職ポートフォリオの作成によるリフレクションと教師の成長	教育学系 教授 谷塚 光典	教師としての専門的能力を示し自己の教育実践を省察するために、ICTを活用しながら教職ポートフォリオを作成していく講義と演習（グループワークを含む）です。※参加者は、学習指導案（1時限分）、授業や板書の写真、児童・生徒の作品・学習プリントなど、日常の教育活動の資料を用意してください。	教員（幼・小・中・高）	講義・演習・グループワークあり
153	「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善	教育学系 教授 谷塚 光典	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、これまでの教育実践を振り返りながら、担当している授業を改善するための学習過程のイメージを明確にする講義と演習（グループワークを含む）です。※参加者は、学習指導案（1時限分）、授業や板書の写真、児童・生徒の作品・学習プリントなど、日常の教育活動の資料を用意してください。	教員（小・中）	講義・演習・グループワークあり
154	ありのままの自己肯定感を育む	総合人間科学系 助教 横嶋 敬行	自己肯定感の育成は現代の重要な教育課題の1つです。ありのままの自己肯定感とは、努力や成長、他者との協同的なかかわり、主体的な活動や挑戦など要素から育まれる自己肯定感です。本講演では、その心の特徴や効果的な教育・子育ての方法について、最先端の学校心理学研究の話題も盛り込みながら解説します。幼児期、児童期、青年期といった特定の発達段階に特化した講演も可能です。	一般、学校教員、保育者、保護者など、子どもの心の成長に興味を持たれているすべての方	講義

分類番号	講演題目	講師名	内容	対象	講座形式
I55	自律的な思いやりを育む	総合人間科学系 助教 横嶋 敬行	他者を助ける行動を「自分にとって意味のある」「大切なことだ」と感じる心の特徴、自律的な思いやりといます。これが思いやりの行動を起こす本人の心身の健康にとっても重要な心の特徴であることが分かってきました。本講演では、共感性・動機づけ・行動の3つの観点から、自律的な思いやりの特徴を解説し、効果的な教育・子育ての方法の在り方を紹介します。	一般、学校教員、保育者、保護者など、子どもの心の成長に興味を持たれているすべての方	講義
I56	『伝わる』が変わる会話術	総合人間科学系 助教 横嶋 敬行	本講座では、思いを上手に伝え、相手の気持ちを受け止めるための「アサーティブ・コミュニケーション」を学びます。講義とグループワークを通して、聴く力と伝える力をトレーニングし、より良い対話と人間関係を気づく方法を実践的に体験します。子どもを対象とした出前授業や、職場などのコミュニケーショントレーニング研修などにご利用いただけます。	小、中、高、一般	講義・グループワークあり
I57	元気な『いま』の作り方	総合人間科学系 助教 横嶋 敬行	本講座では、ストレスや不安が生まれるしくみを学び、認知行動療法やマインドフルネスの考え方をもとに、講義とグループワークを通して、日常生活で活用できる「元気な『いま』の作り方」を実践的に体験します。子どもを対象とした出前授業や、職場などのメンタルヘルス研修などにご利用いただけます。	小、中、高、一般	講義・グループワークあり
I58	オレのやる気スイッチを押してくれ！	総合人間科学系 助教 横嶋 敬行	本講座のタイトルに惹かれてこの概説をご覧のあなたは、「やる気がでない子に、どう関わればいいのか？」「子どものやる気を適切に支えてあげたい」——そんな思いをお持ちではないでしょうか。本講座では、やる気のメカニズムに関する基礎理論の解説や、やる気を育むための“ほめる技術”について、脳科学の話題などを盛り込みながら紹介します。	一般、学校教員、保育者、保護者など、子どもの心の成長に興味を持たれているすべての方	講義
I59	「ほめ上手さん」に見えている世界	総合人間科学系 助教 横嶋 敬行	「ほめる」ことは、子どもの心の成長ややる気を支える大切な関わりです。しかし、「うまく伝わらない」「甘やかしにならないの？」など、簡単そうで実は多くの人が悩むのが「ほめる技術」です。本講座では、“ともに在る（being with）”の姿勢とポジティブ行動支援の視点から、子どもの自己肯定感・思いやり・やる気を育む実践的な「ほめる技術」について考えていきます。	一般、学校教員、保育者、保護者など、子どもの心の成長に興味を持たれているすべての方	講義
I60	研究する人生とは？	繊維学系 教授 西井 良典	研究するとはどういうことなのか？研究者ってどういう人？どうすれば研究者になれるのか？実は、科学者だけでなく、農業や漁業を営む人々も研究者と言えます。“目前の事象を観察し仮説を立てて解決策を試行錯誤し、より良い成果に結びつける。”このような視点から研究する人生を考察し、そのいくつかの例を自身の経験も交えて解説します。	小、中、高、一般	講義

☆関連するテーマの講座（こちらもご参照ください）

A9	外国の人と共に創っていく日本社会	総合人間科学系	佐藤 友則
A10	多文化共生と今後の日本の針路	総合人間科学系	佐藤 友則
A14	教科書の裏側へー中国古代史入門ー	人文科学系	新津 健一郎
A17	修学旅行の歴史～子どもたちの伊勢参宮旅行～	総合人間科学系	橋本 萌
A18	持続的食・農・環境論	総合人間科学系/グローバル化推進センター	浜野 充
A24	勉強をてつがくする～知的好奇心の謎～	教育学系	松島 恒照
A25	人間をてつがくする～なぜ私たちは生きるのか？～	教育学系	松島 恒照
C9	防災減災のための心の科学 リスク社会をいかに生きるか	人文科学系（信州大学地域防災減災センター）	菊池 聡
C31	ダンゴムシ、オオグソクムシ、ミナミコメツキガニの心理学！	繊維学系	森山 徹
D13	志賀高原ユネスコエコパーク：人と自然の調和を目指して	教育学系	水谷 瑞希
H18	喫煙を考える	医学系	花岡 正幸
J3	大人になって読む文学 — 教科書作品から	教育学系	大井 和彦
J5	日本語をさぐる — 教科書の言葉から	教育学系	大井 和彦
J25	古典文学の窓—本当は面白く、楽しいんです—	教育学系	西 一夫
J30	言語の身体的基盤	教育学系	水口 崇
K2	Let's GO GO マジカル・スプーン！	工学系	香山 瑞恵
K3	人工知能とつくるミライ	工学系	香山 瑞恵
K4	人工知能を作ってみよう	工学系	香山 瑞恵
K5	micro:bit でロボット・プログラミング	工学系	香山 瑞恵

J 文化・芸術

言語・文学・音楽・美術 など

分類番号	講演題目	講師名	内容	対象	講座形式
J1	物語映画の〈しくみ〉	人文科学系 教授 飯岡 詩朗	私たちが映画を見ながらハラハラ・ドキドキするのは、物語の内容によるよりも、むしろその提示のしかたによります。いわば、私たちがハラハラ・ドキドキさせる〈しくみ〉があるのです。そして、その〈しくみ〉は100年前にほぼ完成しています。実際にその頃作られた短編映画を見ながら、現代でも用いられる物語映画の〈しくみ〉を解説します。 ※要プロジェクタ、スクリーン、スピーカー ※令和8年度は前期のみの開講となります。	小、中、 高、一般	講義
J2	立体造形表現	教育学系 准教授 猪瀬 昌延	粘土や木材など、造形に適した素材は身の回りに多くあります。その素材を使って、何を学び、何が作られるのかを実践的制作を通して学びます。また、ものをつくるという行為自体に、どのような意味が含有されているのかを考察し、創造する意味を学びます。	小、中、 高	講義・実技
J3	大人になって読む文学 — 教科書作品から	教育学系 講師 大井 和彦	文学は長く言葉の文化を伝えてきましたが、私たちが出会う最初の場は国語の教科書だったかもしれません。あのとき読んだ作品も、大人になった今読むと違う顔を見せてくれます。もう一度読み直したとき、どんなことが感じられるのでしょうか。文学を読む意味を皆さんと一緒に探る講座です。	一般	講義 グループ ワークあり
J4	伝統を相対化する—茶道の視点から	教育学系 講師 大井 和彦	「伝統」は重く感じられたり、逆に変わらないものだと思われがちです。でも、本当にそうでしょうか。茶道を手がかりに、伝統がどのように形づくられ、今の私たちにどんな意味を持つのかをやさしくひもときます。伝統とのちょうどよい距離や関わり方を一緒に考える講座です。	中、高、 一般	講義 グループ ワークあり（条件が揃えば演習も）
J5	日本語をさぐる — 教科書の言葉から	教育学系 講師 大井 和彦	私たちは毎日日本語を使っていますが、その仕組みを意識することはあまりありません。国語の教科書にある「言葉の特徴や決まり」や、そこに登場する身近な言い回しを手がかりに、日本語を日本語学の視点からやさしく見つめ直します。母語を相対化し、そのおもしろさと奥深さを再発見する講座です。	一般	講義 グループ ワークあり
J6	イタリア、都市と美術	人文科学系 教授 金井 直	イタリアの街にはそれぞれの魅力があります。そしてそれぞれの文化と芸術を誇り、競い合った歴史があります。本講ではとくにフィレンツェ・ローマとヴェネツィアを比較しつつ、ルネサンス以来のイタリア美術の流れを紹介し、あわせて作品を深く味わうためのポイントや方法を解説します。	一般	講義
J7	アジアのお香：熱帯雨林と文化	総合人間科学系 教授 金澤 謙太郎	沈香は日本で15世紀後半、茶道、華道と並んで起こった東山文化の一つ、香道で使われている香木の樹脂です。今でも根強い人気があり、熱帯雨林の「寶石」と呼ばれます。さて、沈香はどこから来るのでしょうか。原産地の環境や採集者の暮らしなどを報告します。	高、一般	講義
J8	児童と一緒に国際理解授業	工学系 教授 カワモト ポーリン・ ナオミ	英語の読み聞かせなどを通して、その季節に合ったテーマで異文化の紹介をします。	小	講義・グループ ワークありetc…
J9	読みやすい文字を書くために—文字の成り立ちを楽しみながら—	教育学系 教授 小林 比出代	「美文字」が脚光を浴びた昨今、私たちが日頃使っている文字について、その成り立ち等のよもやま話を楽しみながら、それらの書き方に共通する「約束事」を確認し、日常用いている硬筆筆記具で実際に書いてみましょう。（鉛筆をご持参ください。）	一般	講義・演習
J10	異文化理解の楽しさと落とし穴—異質なものととの共存方法について—	全学教育センター 特任教員 近藤 富英	文化には衣食住や文化遺産のように「目に見える文化」のほかに、価値観や物の捉え方、コミュニケーションのスタイルなどのようになかなか気づきにくい、いわば「目に見えない文化」もあります。こちらでは誠実なつもりが、他の国や文化では逆に失礼になることもあります。異文化に関する多くの事例を紹介しながら、異質なものととの共存方法とグローバル時代のコミュニケーションのあり方について考えます。	中、高、 一般	講義

分類番号	講演題目	講師名	内容	対象	講座形式
J11	英語の看板から見る面白英語とロンドン事情	全学教育センター 特任教員 近藤 富英	ロンドンで撮影したたくさんの英語の看板や収集したサインボード、グリーティングカード等をご紹介しながら、そこに映し出された今の英国と英語表現について語ります。そこには笑いや皮肉、ダークユーモア、言葉遊び、まじめな人生訓などが溢れています。英語独特の表現を通じて日本語との発想の違いなどにも触れます。まさに「看板は語る！」です。	中、高、 一般	講義
J12	日本人英語学習者のための面白英語発音講座	全学教育センター 特任教員 近藤 富英	題目には「日本人英語学習者のための」としましたが、本当は日本語を母語とする、つまり日本語を第一言語とする人たちに「特化」した英語の発音講座です。みなさんの日本語が影響して英語の発音を難しくしている音があります。それらに集中してその難しさの理由と実践的な練習方法をお伝えします。エルとアールはもちろん、ハ行の秘密、文化を超えた音の誤解など、たくさんの経験やエピソードやクイズを交えながら、その音の真実と克服法をやさしく説明します。	中、高、 一般	講義
J13	くまのプーさんとピーターラビットを楽しむ！	全学教育センター 特任教員 近藤 富英	英国はたくさんの児童文学でも有名ですが、今回は「くまのプーさん」と「ピーターラビット」を英語で楽しく読みながら、それぞれの作者の生い立ちや時代背景を解説します。さらにそれらの作品が生まれた土地であるアッシュダウンの森や湖水地方も写真を交えてご紹介します。英語は丁寧に説明します。きっと二つのキャラクターがもっと好きになることでしょう。	中、高、 一般	講義
J14	「音」「音楽」を楽しもう！	教育学系 教授 齊藤 忠彦	身近に存在する「音」、楽器を使った「音」を楽しみましょう。そして、即興的に奏でられる「音楽」の魅力を味わいましょう。アフリカの打楽器（ジャンベ）などの民族楽器を使用する予定です。	小、中、 高、一般	実習・実技あり
J15	合唱指導(実習)	教育学系 准教授 田島 達也	童謡や唱歌の合唱曲をはじめ、さまざまな合唱曲の指導を行います。発声法や表現法を中心に指導いたしますが、楽しく、レベルに応じた指導を心がけたいと思います。学ぶ曲が決まっている場合、前もって送付いただけるとありがたいです。なお、ピアノのある教室等が必要となります。※出講日は土・日・祝日を希望します。	一般	実習・実技あり
J16	ことばの不思議	教育学系 准教授 田中 江扶	本講座では、英語や日本語などのことばに見られるいろんな「なぜ」を紹介しながら、その「なぜ」の「なぜ解き」というか「なぜ説き」をしていきます。ことばの不思議を通して、学ぶことワクワク感やドキドキ感を一緒に共有できたらと思っています。	中、高、 一般	講義・演習
J17	F.シューベルトの独自性に触れる①～④	教育学系 教授 中島 卓郎	シューベルトは数多くの魅力的な芸術歌曲を生み出したことでよく知られています。ここでは、①シューベルトとウィーン社会②歌曲におけるドラマ性③シューベルトの器楽曲④温かく心に寄り添う音楽、を視点とし、その詩的内面性、独創的形式、当時の文化との関連等について、実際に楽曲を聴きつつ探っていきます。全4回の講演としていますが、1回のみでも開講が可能です。	一般	講義・鑑賞 (学ぶ・音楽を聴く)
J18	L.v.ベートーヴェンの独自性に触れる①～④	教育学系 教授 中島 卓郎	L.v.ベートーヴェンを、①ベートーヴェンを生み出した社会②ピアノの進化と楽曲の関わり③作曲技法—構築性—④革新性、を視点として眺め、その独自性にふれます。実際に楽曲を聴いたり、楽譜や画像などを投映したりしつつ講義を進めます。全4回の講演としていますが、1回のみでも開講が可能です。	中、高、 一般	講義・鑑賞 (学ぶ・音楽を聴く)
J19	J.S.バッハの独自性に触れる—教育を視点として—	教育学系 教授 中島 卓郎	J.S.バッハの鍵盤楽曲「インヴェンションとシンフォニア」には、作曲家自身による作品の「教育的意義」についての助言が付されています。本講座では、鍵盤楽器の変遷を踏まえ、その助言と楽曲との関係について読み解いていきます。さらに、楽譜(解釈版)の校訂者や現代の演奏家たちによる解釈の差異に触れ、その作品と演奏の面白さを味わいたいと思います。実際に楽曲を聴いたり、楽譜や画像などを投映したりしつつ講義を進めます。	中、高、 一般	講義・鑑賞 (学ぶ・音楽を聴く)
J20	R.シューマンの独自性に触れる①～④	教育学系 教授 中島 卓郎	R.シューマンを①「文字」②「J.パウル(小説家)」③「妻クララ」④「評論活動」を視点として眺めます。R.シューマンの作品は「文学的」と言われています。本講座では当時の音楽誌「Neue Zeitschrift fuer Musik(新音楽時報)」におけるシューマンの批評活動について、また「文字」と具体的な楽曲との関わりに着目します。文学好きでピアニストになることを目指したシューマン、そして妻となるクララへの熱愛も関わらせつつ、その独自性にふれたいと思います。実際に楽曲を聴いたり、楽譜や画像などを投映したりしつつ講義を進めます。全4回の講演としていますが、1回のみでも開講が可能です。	一般	講義・鑑賞 (学ぶ・音楽を聴く)
J21	S.ラフマニノフの独自性に触れる	教育学系 教授 中島 卓郎	20世紀に入り多くの作曲家が新たな作曲理論や思想を打ち出し、実験的とも言える多様な作品が出現する中、ラフマニノフは時代を遡るかのようロマン的で直截的な情感溢れる音楽を生み出していました。ここでは、主として彼が残した録音(自作曲、ショパン、編曲もの)に着目し、その演奏の魅力や芸術観、独自性に迫りたいと思います。	一般	講義・鑑賞 (学ぶ・音楽を聴く)

分類番号	講演題目	講師名	内容	対象	講座形式
J22	鍵盤音楽の魅力をさぐるーバロックから古典を中心にー	教育学系 教授 中島 卓郎	バッハの音楽観や作曲技法にはじまり、偉大な芸術家の作品の特徴や芸術観について文化的・歴史的背景や当時の社会情勢などと関連させて概説いたします。チェンバロ・グラヴィコード・ピアノ等、芸術作品が生み出された時代の鍵盤楽器の特徴や発展もからめてお話しさせていただきますと思います。	中、高、 一般	講義・鑑賞 (学ぶ・音楽を聴く)
J23	印象派期における音楽と絵画ードビュッシーとモネ ①～④	教育学系 教授 中島 卓郎	印象派に分類されるドビュッシーとモネの作品について、西洋芸術史を踏まえ、『月の光』『亜麻色の髪の乙女』や「印象-日の出」「ロンドンの国会議事堂」など両者の作品を比較検証しながら、それぞれの言説や作品の構造的側面に基づいて、共通性、関連性を探ります。授業者の専門である音楽(ピアノ)を中心とし、実際に楽曲を聴いたり、楽譜や絵画などを放映したりしつつ講義を進めます。全4回の講演としていますが、1回のみでも開講が可能です。	中、高、 一般	講義・鑑賞 (音楽を聴く・ 絵画を見る)
J24	F.ショパンの独自性にふれる①～④	教育学系 教授 中島 卓郎	ロマン派を代表するショパンについて、具体的な楽曲、例えばノクターン、ポロネーズやマズルカ等を取り上げ、なぜ皆がショパンに魅了されるのかについて考察します。エレガントな趣向、抒情性とドラマ性、祖国愛や独創性等について、ショパンを取り巻く歴史的・文化的背景、言説や弟子たちの証言等をもとに、その独自性に迫りたいと思います。実際に楽曲を聴いたり、楽譜や画像などを放映したりしつつ講義を進めます。全4回の講演としていますが、1回のみでも開講が可能です。	中、高、 一般	講義・鑑賞 (学ぶ・音楽を聴く)
J25	古典文学の窓ー本当は面白く、楽しいんですー	教育学系 教授 西 一夫	古典文学に対する意識の高まりがある一方で高校生の八割以上が「古典嫌い」という現実があります。この講座では、小学生は楽しく古典と接し、中学生と高校生には表現の中に込められた作品の本当の姿を、さらには教員や一般の方へは肩肘張らず楽しめる古典の世界をご紹介しますと思います。	小、中、 高、 一般、 教員	講義
J26	アラビア語を読んでみよう、書いてみよう	教育学系 助教 野口 舞子	国連公用語の一つであるアラビア語。イスラーム教の言語でもあります。このようなアラビア語を読んだり、書いたりしてみたいと思いませんか?講座ではアラビア文字の仕組みや読み方を学んだり、自分の名前を書いたりして、アラビア語に親しみます。	高、一般	講義、実技あり
J27	物語を方法的に読む	教育学系 助教 藤原 崇雅	小学校から高校にいたるまで、文学的な文章を授業で扱います。大学でも同様の文章を授業で扱うのですが、その扱い方は、高校までとどう違うのでしょうか?「羅生門」や「山月記」などの定番教材は、あらずじや登場人物の心情を理解すれば、解釈したことになるのでしょうか?大学で行う「理論的」な解釈の方法を分かりやすく解説します。	高、一般	講義、演習、グループワークあり
J28	ドイツ語技能検定試験の受験準備講習会	総合人間科学系 教授 松岡 幸司	夏と冬に行われるドイツ語技能検定試験(独検)に関する説明と対策(主に3・4・5級)の講習会です。	中、高、 一般	講義と演習
J29	環境文学のすすめ	総合人間科学系 教授 松岡 幸司	自然や環境をデータでなく「自分の心」でとらえる手段の一つとして、ネイチャーライティングのように、自然環境との関係をテーマとした環境文学といったジャンルがあります。本講座では、環境文学のアウトラインの説明と、実際に作品を読んで、どのように自然環境を感じることができるのか、といったことを一緒に考えたいと思います。	中、高、 一般	講義形式、グループワーク可
J30	言語の身体的基盤	教育学系 教授 水口 崇	近代言語学の祖、フェルディナン・ド・ソシュールは、恣意性の概念を提案しました。これによって、言語ラベルとそれによって指し示されるものに、必然的な関係が皆無であることになりました。しかしながら、恣意性の概念には幾つかの例外が残されています。それらの探求により、言語の意味には身体が成立基盤となっていることが明らかになりつつあります。本講義では、言語の身体的な基盤について解説します。	一般	講義
☆関連するテーマの講座 (こちらをご参照ください)					
A12	グローバル人材養成講座ー郷に入っては郷に従え?ー	教育学系	友川 幸		
A15	中国古代の社会と文化	人文科学系	新津 健一郎		
A22	アフリカの森に住む狩猟採集民の暮らし	総合人間科学系	分藤 大翼		
I33	「我が国の言語文化」で楽しく学ぶ国語の世界	教育学系	西 一夫		

K情報・コンピュータ

情報化社会・コンピュータ・セキュリティ・インターネット・IT技術 など

分類番号	講演題目	講師名	内容	対象	講座形式
K1	機械学習とソフトウェア工学	工学系 教授 岡野 浩三	ソフトウェア開発にあたり、高品質なソフトウェア開発が重要です。この講義では機械学習とソフトウェアの関係やバグ発見の技法や身近なパズルへの応用などについて紹介します。	中、高、 一般	講義
K2	Let's GO GO マジカル・スプーン!	工学系 教授 香山 瑞恵	「コンピュータにおける情報の処理」に関して、2本のスプーンを使って、飛行船を飛ばす実習をおこない、学習者が体験的にその仕組みを学習できる講座です。学習者がソフトウェア技術者の立場で学習活動に参加します。そのような学習活動を行うことで、情報処理の仕組みのみならず、情報処理技術者の役割も実感できます。※プロジェクターをご用意ください。教材を持ち込みます。教材の動作確認のために事前の打ち合わせを必須とします。ネットの接続が必要になります。【開催時間は90分～】	小、中、 高、教員	講義+ワーク ショップ
K3	人工知能とつくるミライ	工学系 教授 香山 瑞恵	人工知能とはなんでしょう。私たちの生活にどのように関わってくるのでしょうか。人工知能発達の歴史をひも解きながら、人工知能と作るミライを一緒に考えてみましょう。※プロジェクターをご用意ください。【開催時間は45分～】	小、中、 高、一般	講義・グループ ワーク
K4	人工知能を作ってみよう	工学系 教授 香山 瑞恵	私たちの身の回りには、実は多くの人工知能が存在しています。人工知能はどんなことができるのでしょうか。Scratchプログラミングを通して、自分で人工知能を作ってみましょう。PC（あるいはタブレット）をご準備ください。受講者1名につき1台PC（あるいはタブレット）が用意できることが理想です。※プロジェクターをご用意ください。ネットの接続が必要になります。【開催時間は90分～】	小、中、 高、一般	講義・実習
K5	micro:bit でロボット・プログラミング	工学系 教授 香山 瑞恵	小型コンピュータmicro:bitを用いてロボットを操作するプログラミングをしてみよう。プログラミングが初めての方でも取り組めるよう、講義も行います。WindowsのPCをご準備ください。受講者1名につき1台PCが用意できることが理想です。micro:bitとロボットは講師が持参します（ただし、40セット以内）。※プロジェクターをご用意ください。ネットの接続が必要になります。【開催時間は90分～】	小、中、 高、一般	講義・実習
K6	音を聞いて、見て、調べて、伝送しよう	工学系 教授 笹森 文仁	音（音階）の波形をパソコン（オシロスコープ）で観測し、波の振幅や周波数、波長の概念を視覚的に解説します。また、人の声をパソコン（オシロスコープとスペクトラムアナライザ）で観測し、同じ発音でも人によって特徴が違うことを解説します。最後に、光を使って声や音楽を伝送する実演を行います。	中、高、 一般	実演+講義
K7	電波時計のしくみを理解しよう	工学系 教授 笹森 文仁	電波時計の時刻を修正するしくみについて解説します。具体的には、2進数の考え方、電波の性質や振幅変調（AM）について解説し、年月日や曜日、時刻の情報がどのように電波に乗って受信されるか解説します。最後に、擬似的に電波時計の微弱電波を送信する実演を行います。	高、一般	講義（最後に少 し実演有り）
K8	AIとともに働く10年後	全学教育センター 特任教授 鈴木 治郎	インターネット利用の浸透に伴い何かわからないことがあれば、まずは検索という時代の今、人工知能技術の中でも、とくに生成AI技術の浸透により「知る・調べる」という行為自体が変質を始めました。人工知能の技術発展はどこまで私たちの社会を変えるのでしょうか。本講座では受講対象に応じて、話題の水準を変え、演習内容も設けます。	中、高、 一般	講義（含む演 習）
K9	絵画を観察し、相互理解を深めよう	繊維学系 教授 吉田 宏昭	科学は観察と実験から成り立ちます。つまり、観察が大切です。では、どうしたら観察力が身につくのでしょうか。1つの方法が絵画の観察です。絵画には様々な思いが込められており、観察には最適です。そして面白いことに、絵画の感想を発表してもらおうと、全員語ることが違います。感想に個性が現れるからです。絵画の観察を通してコミュニケーションを取り、相互理解を深めましょう。	高、一般	講義・演習

☆関連するテーマの講座（こちらもご参照ください）

B27	データサイエンス入門：数学の視点から	理学系	宮西 吉久
I34	データサイエンス教育について見てみよう	総合人間科学系	平井 佑樹
I51	教育の情報化・ICT活用教育・遠隔教育	教育学系	森下 孟

L スポーツ

スポーツ指導 など

☆関連するテーマの講座 (こちらをご参照ください)

12	学級経営に役立つ体育の授業づくり	総合人間科学系	加藤 彩乃
13	運動が苦手な先生のための体育の授業づくり	総合人間科学系	加藤 彩乃
14	運動が苦手な子どもを含む集団に向けた体育の授業づくり	総合人間科学系	加藤 彩乃